

共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
共通科目	人間	倫理学A	2		2									※教養は、14単位以上(人間、社会、文化)で合計6単位以上、自然で6単位以上(基礎科学実験必修合計2単位分を含む)修得すること。	
		倫理学B	2			2									
		心理学A	2		2										
		心理学B	2			2									
		哲学A	2		2										
		哲学B	2			2									
		宗教学A	2		2										
		宗教学B	2			2									
		科学史	2			2									
	社会	歴史学A	2		2										
		歴史学B	2			2									
		法学	2		2										
		日本国憲法	2			2									
		経済学	2		2										
	文化	社会学	2			2									
		文学A	2		2										
		文学B	2			2									
		文化史A	2		2										
	自然	文化史B	2			2									
		美術・芸術学	2			2									
		数学I	2		2										
		数学II	2			2									
		物理学I	2		2										
		物理学II	2			2									
		化学I	2		2										
		化学II	2			2									
		生物学I	2		2										
		生物学II	2			2									
	基礎科学実験(物理学)	1	◎	②	②										
		基礎科学実験(化学)	1	◎	②	②									
	語学	英語I	1		2										※英語科目
		英語II	1			2									
		教養英語A	1		2										
		教養英語B	1			2									
		教養英語C	1			2									
		中国語I	1		2										
中国語II		1			2										
韓国語I		1		2											
韓国語II	1			2											
保健体育	健康体育A	1		2									※語学は英語科目を4単位以上修得すること。(生命コースおよび生命・健康コースのみ)		
	健康体育B	1			2										
	健康と生活	2		2											
ディエンタサイ	情報I	1	◎	2									※語学は英語科目を含み4単位以上修得すること。(臨床工学コースのみ)		
	情報II	1	◎		2										
	統計学	2			2										
キャリア	キャリアデザインI	2			2										
	キャリアデザインII	2				2									
	キャリアデザインIII	1					1								
	時事問題解説	2				2									
ゼミ	基礎ゼミ	2	◎	2											
計		84		46	52	4	0	0	1	0	0				

【生命コース】専門科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目	身近な化学	2		2									※専門科目は、必修科目24単位を含めて76単位以上修得すること。	
	植物のかたちと分類	2		2										
	微生物と生活	2			2									
	昆虫学	2		2										
	ヒトの解剖生理	2		2										
	生物分析基礎	2	○1			2								※○1から6単位以上修得すること。
	有機化学Ⅰ	2	○1		2									
	有機化学Ⅱ	2	○1		2									
	バイオ実験解析	2	○1		2									
	基礎物理化学	2	○1		2									
	物理化学	2	○1		2									
	コア	生物化学Ⅰ	2	○2		2								
		生物化学Ⅱ	2	○2		2								
		分子生物学Ⅰ	2	○2		2								
		分子生物学Ⅱ	2	○2		2								
		細胞生物学	2	○2		2								
		微生物学	2	○2		2								
	バイオテクノロジー系	バイオプロセス	2						2					(偶数年度のみ開講)
		実験動物学	2					2						
		生化学とバイオテクノロジー	2						2					
		最近の医薬品生命科学	2						2					
		最近の遺伝子生命工学	2							2				(奇数年度のみ開講)
		機能性素材科学	2				2							
		バイオ産業論	2				2							
		化学療法論	2							2				
	バイオサイエンス系	官能評価学	2				2							
		植物生理学	2				2							
		ホルモンの科学	2							2				
		ヒトの運動と呼吸の生理	2						2					
		代謝栄養学	2				2							
		酵素学	2			2								
		ウェルネス概論	2			2								
食品・食品衛生系	食品衛生学	2			2								(奇数年度のみ開講)	
	食品分析学	2							2					
	食品化学	2						2						
	公衆衛生学	2			2									
	食品保存・加工学	2				2								
実験	生命科学基礎実験Ⅰ	4	◎				8							
	生命科学基礎実験Ⅱ	4	◎				8							
	生命科学実験Ⅰ	4	◎					8						
	生命科学実験Ⅱ	4	◎					8						
その他	生命科学セミナー	1							2				※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上。	
	生命科学英語基礎	1							2					
	論文講読Ⅰ	1								2				
	論文講読Ⅱ	1									2			
	卒業研究	8	◎								8	8		
計		102		8	6	22	34	24	16	10	10			

【生命・健康コース】専門科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
専門基礎	身近な化学	2		2									※専門科目は、必修科目24単位を含めて76単位以上修得すること。
	植物のかたちと分類	2		2									
	微生物と生活	2			2								
	昆虫学	2		2									
	ヒトの解剖生理	2		2									
	生物分析基礎	2	○1			2							
	有機化学Ⅰ	2	○1		2								
	有機化学Ⅱ	2	○1			2							
	バイオ実験解析	2	○1			2							
	基礎物理化学	2	○1		2								
物理化学	2	○1			2								
コア	生物化学Ⅰ	2	○2			2						※○2から8単位以上修得すること。	
	生物化学Ⅱ	2	○2				2						
	分子生物学Ⅰ	2	○2			2							
	分子生物学Ⅱ	2	○2				2						
	細胞生物学	2	○2			2							
微生物学	2	○2			2								
バイオテクノロジー系	バイオプロセス	2							2			(奇数年度のみ開講)	
	実験動物学	2						2					
	生化学とバイオテクノロジー	2				2							
	最近の医薬品生命科学	2						2					
	最近の遺伝子生命工学	2							2				
	機能性素材科学	2				2							
	バイオ産業論	2						2					
	化学療法論	2								2			
バイオサイエンス系	植物生理学	2				2						(偶数年度のみ開講)	
	ホルモンの科学	2							2				
	ヒトの運動と呼吸の生理	2								2			
	代謝栄養学	2					2						
	病原ウイルス学	2								2			
	酵素学	2				2							
食品・食品衛生系	食品衛生学	2				2						(偶数年度のみ開講)	
	食品分析学	2							2				
	食品化学	2						2					
	食品保存・加工学	2								2			
化粧品系	化粧品科学	2						2				(偶数年度のみ開講)	
	毒性・薬理学	2				2							
	皮膚のサイエンス	2								2			
	官能評価学	2					2						
	香りのサイエンス	1					1						
ヒト健康系	ウエルネス概論	2				2						(偶数年度のみ開講)	
	健康科学	2							2				
	公衆衛生学	2					2						
実験	生命科学基礎実験Ⅰ	4	◎					8				※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上。	
	生命科学基礎実験Ⅱ	4	◎					8					
	生命科学実験Ⅰ	4	◎						8				
	生命科学実験Ⅱ	4	◎							8			
その他	生命科学セミナー	1								2		※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上。	
	生命科学英語基礎	1								2			
	論文講読Ⅰ	1									2		
	論文講読Ⅱ	1									2		
	卒業研究	8	◎								8		
計		113		8	6	23	34	28	22	10	10		

【臨床工学コース】専門科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
専門基礎科目工学系	電気工学Ⅰ	2	◎	2									※専門科目から必修科目60単位を含め76単位以上を修得すること。
	電気工学Ⅱ	2			2								
	医療情報統計学	2				2							
	電子工学Ⅰ	2	◎			2							
	電子工学Ⅱ	2					2						
	臨床工学基礎数学	2	◎		2								
	臨床工学基礎物理学	2	◎			2							
	計測工学	2				2							
	医用機械工学	2						2					
	情報処理工学	2	◎	2									
	医用工学Ⅰ	2				2							
	医療情報処理	2	◎				2						
臨床工学応用数学	2				2								
専門基礎科目医学系	ヒトの解剖生理	2	◎	2									
	医療安全管理学	2	◎	2									
	生化学Ⅰ	2				2							
	生化学Ⅱ	2					2						
	解剖学	2	◎			2							
	公衆衛生学	1	◎		1								
	生理学	2	◎				2						
	病理学	2	◎					2					
	免疫学	2							2				
	医学概論	1	◎		1								
子-△医療概論	2			2									
薬理学	2					2							
専門科目	生体物性工学	2	◎			2							
	臨床医学総論Ⅰ	2	◎					2					
	臨床医学総論Ⅱ	2	◎						2				
	臨床医学総論Ⅲ	2						2					
	臨床医学総論Ⅳ	2							2				
	医用工学Ⅱ	2	◎			2							
	医用工学Ⅲ	2	◎			2							
	医用材料工学	2	◎						2				
	生体計測装置学Ⅰ	2					2						
	生体計測装置学Ⅱ	2								2			
	生体機能代行技術学Ⅰ	2	◎					2					
	生体機能代行技術学Ⅱ	2	◎						2				
	生体機能代行技術学Ⅲ	2	◎					2					
	医用機器学概論	2			2								
	医用治療機器学Ⅰ	2					2						
	医用治療機器学Ⅱ	2						2					
	臨床支援技術学	2							2				
	関係法規	1								1			
実験・実習	電気工学実験	2	◎			4							
	電子工学実験	2	◎				4						
	生体計測装置学実習	2						4					
	医用治療機器学実習	2							4				
	生体機能代行技術学実習Ⅰ	2	◎					4					
	生体機能代行技術学実習Ⅱ	2	◎						4				
	生体機能代行技術学実習Ⅲ	2	◎						4				
	医療安全管理学実習	2							4				
	臨床工学セミナーⅠ	1						2					
	臨床工学セミナーⅡ	1							2				
	臨床工学セミナーⅢ	1								2			
	臨床工学セミナーⅣ	1									2		
	臨床実習事前学修	2									4		
	臨床実習	5	○1								10		
	臨床実習事後学修	1										2	
卒業研究	8	○2								8	8		
計	119			8	10	24	20	30	27	10	26		

共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目	人間	倫理学A	2		2									※教養は18単位以上（自然で4単位以上を含む）修得すること。
		倫理学B	2			2								
		心理学A	2		2									
		心理学B	2			2								
		哲学A	2		2									
		哲学B	2			2								
		宗教学A	2		2									
		宗教学B	2			2								
		科学史	2			2								
	社会	歴史学A	2		2									
		歴史学B	2			2								
		法学	2		2									
		日本国憲法	2			2								
		経済学	2		2									
	文化	社会学	2			2								
		文学A	2		2									
		文学B	2			2								
		文化史A	2		2									
	自然	文化史B	2			2								
		美学・芸術学	2			2								
		数学Ⅰ	2		2									
		数学Ⅱ	2			2								
		物理学Ⅰ	2		2								※自然から4単位以上修得すること。	
		物理学Ⅱ	2			2								
		化学Ⅰ	2		2									
		化学Ⅱ	2			2								
	語学	生物学Ⅰ	2		2									
		生物学Ⅱ	2			2								
		英語Ⅰ	1		2									
		英語Ⅱ	1			2							※語学は4単位以上修得すること。	
		教養英語A	1		2									
		教養英語B	1			2								
教養英語C		1			2									
中国語Ⅰ		1		2										
中国語Ⅱ	1			2										
保健体育	韓国語Ⅰ	1		2										
	韓国語Ⅱ	1			2									
	健康体育A	1		2										
イテ エン タ ス サ	健康体育B	1			2									
	健康と生活	2		2										
	情報Ⅰ	1	◎	2										
キャ リア	情報Ⅱ	1	◎		2									
	統計学	2			2									
	キャリアデザインⅠ	2			2									
	キャリアデザインⅡ	2				2								
ゼミ	キャリアデザインⅢ	1					1							
	時事問題解説	2			2									
	基礎ゼミ	2	◎	2										
	計	82		42	48	4	0	0	1	0	0			

専門科目 カリキュラム表

帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門基礎科目	地球科学	2		2										※専門科目は必修科目36単位を含めて76単位以上修得すること。 ※千住キャンパスの昆虫学は後期開講。
	環境科学概論	2		2										
	基礎動物学	2	◎	2										
	植物自然史	2	◎	2										
	昆虫学	2		2										
	基礎環境生態学	2	◎		2									
	生物環境科学	2			2									
	保全生物学入門	2			2									
	魚類学	2			2									
	基礎物理化学	2	◎		2									
	基礎植物学	2				2								
	菌類自然史	2				2								
	細胞生物学	2				2								
	基礎有機化学	2	◎			2								
	自然環境と地球科学	2					2							
	水環境の科学	2					2							
	大気環境の科学	2					2							
環境分析化学	2					2								
専門科目	水圏生態学	2				2								
	環境破壊と野生生物	2				2								
	無機化学	2	◎			2								
	物理化学	2				2								
	人間活動と自然	2					2							
	環境と生物多様性	2					2							
	保全鳥類学	2					2							
	有機化学	2					2							
	分子生物学	2						2						
	適応進化学	2						2						
	保全遺伝学	2						2						
	保全植物学	2						2						
	都市の生物学	2						2						
	環境計量と公害防止の化学	2						2						
	環境調和マテリアル	2						2						
	植物生理学	2							2					
	環境浄化と生物機能	2							2					
	森林生態学	2							2					
	生態系の保全と再生	2							2					
	環境教育と市民科学	2							2					
クリーンエネルギー	2							2						
グリーンケミストリー	2							2						
自然環境セミナー	2								4					
実験・実習・演習・特別講義	基礎物理学実験	1	◎	2										
	環境科学演習Ⅰ	1	◎		2									
	基礎環境科学実験	1	◎			2								
	環境科学演習Ⅱ	1	◎			2								
	環境化学実験	4	◎				8							
	環境科学野外実習	2	◎				4							
	環境生物学実験	4	◎					8						
	環境生物学野外実習	2	◎					4						
	環境特別実習Ⅰ	2						4						
	環境特別実習Ⅱ	1						2						
卒業研究	8	◎								8	8			
計	109			12	12	20	28	32	18	8	8		※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上。	

共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目	人間	倫理学A	2		2									※教養は12単位以上（自然で4単位以上を含む）修得すること。
		倫理学B	2			2								
		心理学A	2		2									
		心理学B	2			2								
		哲学A	2		2									
		哲学B	2			2								
		宗教学A	2		2									
		宗教学B	2			2								
		科学史	2			2								
	社会	歴史学A	2		2									※自然は4単位以上修得すること。
		歴史学B	2			2								
		法学	2		2									
		日本国憲法	2			2								
		経済学	2		2									
	社会学	2			2									
	文化	文学A	2		2									
		文学B	2			2								
		文化史A	2		2									
		文化史B	2			2								
	美学・芸術学	2			2									
	自然	数学Ⅰ	2		2									
		数学Ⅱ	2			2								
		物理学Ⅰ	2		2									
		物理学Ⅱ	2			2								
		化学Ⅰ	2		2									
		化学Ⅱ	2			2								
		生物学Ⅰ	2		2									
		生物学Ⅱ	2			2								
		基礎科学実験（物理学）	1							2				
	語学	英語Ⅰ	1		2									※語学は4単位以上修得すること
		英語Ⅱ	1			2								
		教養英語A	1		2									
		教養英語B	1			2								
		教養英語C	1			2								
		中国語Ⅰ	1		2									
		中国語Ⅱ	1			2								
		韓国語Ⅰ	1		2									
		韓国語Ⅱ	1			2								
	保健体育	健康体育A	1		2									
		健康体育B	1			2								
		健康と生活	2		2									
	イデ エン タ ス サ	情報Ⅰ	1	◎	2									
情報Ⅱ		1	◎		2									
統計学		2			2									
キャ リア	キャリアデザインⅠ	2			2									
	キャリアデザインⅡ	2				2								
	キャリアデザインⅢ	1						1						
	時事問題解説	2				2								
ゼミ	基礎ゼミ	2	◎	2										
計		83		42	48	4	0	0	3	0	0			

【アニマルサイエンスコース・野生動物コース・アニマルセラピーコース】専門科目（1）カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考				
				1年次		2年次		3年次		4年次						
				1	2	3	4	5	6	7	8					
専門基礎科目	アニマルサイエンス・トピックス	2		2											※専門科目は必修科目25単位を含めて76単位以上修得すること。	
	伴侶動物学	2		2												
	生物の科学	2		2												
	人と動物の関係学	2		2												
	動物行動学Ⅰ	2			2											
	動物病原微生物学	2			2											
	動物基礎栄養学	2			2											
	生化学	2			2											
	アニマルトレーニング基礎論	2			2											
	アニマルセラピー概論	2			2											
	動物生理学Ⅰ	2				2										
	動物解剖学	2				2										
	身近な植物の科学	2				2										
	遺伝繁殖学	2					2									
	生態学	2					2									
	動物検体検査学	2					2									
	遊び論	2					2									
	動物行動学Ⅱ	2						2								
	基礎化学Ⅰ	2							2							
	基礎化学Ⅱ	2							2							
	実験動物学	1								1						
	産業動物と展示動物の基礎	1								1						
	動物愛護・適正飼養関連法規	1								1						
	集団と進化の生物学	2								2						
	専門科目 アニマルサイエンスコース	動物園水族館基礎論	2		2											
		比較動物観学	2			2										
		動物保健衛生学	2			2										
		動物疾病学	2			2										
ペット産業論		2				2										
水族館学		2					2									
動物園動物飼育展示論Ⅰ		2					2									
イヌの行動と心理		2							2							
動物園学		2								2						
動物園動物飼育展示論Ⅱ		2								2						
作業犬育成論		2									2					
専門科目 野生動物コース		陸生哺乳類学	2		2											
		水生動物学	2			2										
	環境教育概論	2			2											
	野生鳥類学	2			2											
	地域環境計画論	2				2										
	水生哺乳類学	2				2										
	野生動物救護学	2				2										
	保全動物学	2					2									
	景観デザイン論	2						2								
両棲・爬虫類学	2							2								
専門科目 アニマルセラピーコース	アニマルセラピー実践論	2			2											
	社会福祉概論	2			2											
	動物福祉論	2			2											
	HAIと比較認知科学	2			2											
	ペット飼育の心理学	2				2										
	馬介在介入	2					2									
	臨床心理学	2					2									
	応用動物行動学	2							2							
	動物生活環境学	1								1						
	動物介在療法PDCA	1									1					

【動物看護科学コース】専門科目（1） カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
専門科目 専門基礎科目	アニマルサイエンス・トピックス	2		2									※専門科目は必修科目27単位を含めて76単位以上修得すること。
	伴侶動物学	2		2									
	生物の科学	2		2									
	人と動物の関係学	2		2									
	動物行動学Ⅰ	2			2								
	動物病原微生物学	2			2								
	動物基礎栄養学	2			2								
	生化学	2			2								
	アニマルトレーニング基礎論	2			2								
	アニマルセラピー概論	2			2								
	動物生理学Ⅰ	2				2							
	動物解剖学	2				2							
	身近な植物の科学	2				2							
	遺伝繁殖学	2					2						
	生態学	2					2						
	動物検体検査学	2					2						
	遊び論	2					2						
	動物行動学Ⅱ	2						2					
	基礎化学Ⅰ	2						2					
	基礎化学Ⅱ	2						2					
	実験動物学	1							1				
	集団と進化の生物学	2							2				
	動物園水族館基礎論	2		2									
	比較動物観光学	2				2							
	ペット産業論	2					2						
	水族館学	2						2					
	動物園動物飼育展示論Ⅰ	2							2				
	イヌの行動と心理	2								2			
	動物園学	2								2			
	動物園動物飼育展示論Ⅱ	2								2			
	作業犬育成論	2								2			
	陸生哺乳類学	2		2									
	水生動物学	2				2							
	環境教育概論	2					2						
	野生鳥類学	2					2						
	地域環境計画論	2						2					
	水生哺乳類学	2						2					
	保全動物学	2							2				
	景観デザイン論	2								2			
	野生動物救護学	2						2					
両棲・爬虫類学	2								2				
アニマルセラピー実践論	2					2							
社会福祉概論	2						2						
動物福祉論	2							2					
HAIと比較認知科学	2						2						
ペット飼育の心理学	2							2					
馬介在介入	2								2				
臨床心理学	2								2				
応用動物行動学	2									2			
動物生活環境学	1									1			
動物介在療法PDCA	1									1			

【動物看護科学コース】専門科目（2） カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考					
				1年次		2年次		3年次		4年次							
				1	2	3	4	5	6	7	8						
動物看護科学コース専門科目	動物看護学概論	2		2													
	動物薬理学	2					2										
	動物病理学	2				2											
	動物保健衛生学	2				2											
	動物疾病学	2				2											
	動物内科看護学	2					2										
	動物外科看護学	2					2										
	動物臨床看護学総論	2					2										
	適正飼養指導論	1						1									
	産業動物と展示動物の基礎	1							1								
	動物愛護・適正飼養関連法規	1							1								
	動物看護関連法規	1							1								
	動物臨床看護学各論Ⅰ	2								2							
	動物臨床看護学各論Ⅱ	2								2							
	動物臨床看護学各論Ⅲ	2								2							
動物医療コミュニケーション	2								2								
実習（コース共通）	飼育実習	1		1													
	科学研究基礎実習Ⅰ	3	◎			6											
	科学研究基礎実習Ⅱ	1	◎			2											
	動物科学基礎実習Ⅰ	4	◎			8											
	動物科学基礎実習Ⅱ	1	◎			2											
	フィールド実習Ⅰ	2						4								※フィールド実習は春期休業中に実施する。	
	フィールド実習Ⅱ	2						4									
	海外実習	2							*							※海外実習（*印）は夏季休業中に実施するが、前期期間中に事前学習・後期期間中に事後学習を実施する。	
	特別実習Ⅰ	2				○											
	特別実習Ⅱ	2					○										
	特別実習Ⅲ	2						○								※特別実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（○印）は、休業期間、休日等を利用して合計60時間以上行う。	
	特別実習Ⅳ	2							○								
	特別実習Ⅴ	8										☆					
特別実習Ⅵ	8											☆			※卒業研究については、教員の指導により特別実習Ⅴ、Ⅵ（☆印）をもってこれに替えることができる。		
化学実験	1								1								
生物学実験	1				1												
動物看護実習	動物形態機能学実習	1	◎4					2									
	動物看護基礎実習	1	◎4					2									
	動物内科看護学実習	2	◎4					4									
	動物外科看護学実習	1	◎4						2								
	動物臨床看護学実習	1	◎4						2								
	動物臨床検査学実習	1	◎4						2								
	動物愛護・適正飼養実習	1	◎4						2								
	動物看護総合実習	2	◎4					集中講義									
動物看護飼育管理実習	2						4										
その他	アニマルサイエンス研究Ⅰ	2						2									
	アニマルサイエンス研究Ⅱ	2							2								
	論文講読Ⅰ	1										1					
	論文講読Ⅱ	1											1				
	卒業研究	8	◎									4	4			※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上。	
計		195		15	12	29	44	45	35	5	5						

【動物看護福祉コース】専門科目（1） カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門基礎科目	アニマルサイエンス・トピックス	2	◎	2										※専門科目は必修科目24単位を含めて76単位以上修得すること。
	愛玩動物学	2	◎	2										
	生化学	2	◎	2										
	生物の科学	2	◎	2										
	生命倫理・動物福祉学	2			2									
	動物栄養学Ⅰ	2			2									
	動物病原微生物学	2			2									
	動物行動学Ⅰ	2				2								
	動物生理学Ⅰ	2			2									
	動物解剖組織学	2	◎	2										
	産業動物と展示動物の基礎	2	◎	2										
	動物介在教育学	2			2									
	人と動物の関係学	2			2									
	実験動物学	2			2									
	生態学	2			2									
	身近な植物の科学	2			2									
	遺伝繁殖学	2					2							
	基礎化学Ⅰ	2						2						
	基礎化学Ⅱ	2						2						
	集団と進化の生物学	2						2						
ペット飼育の心理学	2						2							
専門科目	動物看護学概論	2	◎	2										
	動物感染症学	2				2								
	動物看護関連法規	1				1								
	動物臨床検査学	2				2								
	動物臨床栄養学	2				2								
	動物栄養学Ⅱ	1					1							
	公衆衛生学	2						2						
	動物臨床看護学総論	2				2								
	動物薬理学	2				2								
	動物病理学	2				2								
	動物内科看護学	2					2							
	動物外科看護学	2					2							
	臨床動物行動学	1							1					
	動物医療コミュニケーション	2						2						
	動物リハビリテーション学	2							2					
	動物ケア実践	2							2					
	動物臨床看護学各論Ⅰ	2						2						
	動物臨床看護学各論Ⅱ	2						2						
動物臨床看護学各論Ⅲ	2						2							

【動物看護福祉コース】専門科目（2） カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
動物福祉専門科目	動物福祉活動論	2						2					
	動物国際事情	1		1									
	動物福祉関連法規	1				1							
	動物生活環境学	1						1					
	ペット関連産業概論	2			2								
	動物福祉の評価と実践	2						2					
	産業動物の管理と福祉	2								2			
	動物産業経営論	1							1				
	適正飼養指導論	2				2							
	産業動物汎論	2								2			
	動物育種学	1									1		
演習	動物看護演習	1								1			
専門科目 実習	動物看護基礎実習Ⅰ	1	◎	2									通年開講
	動物看護基礎実習Ⅱ	1	◎			2							
	動物看護基礎実習Ⅲ	1	◎			2							
	動物形態機能学実習	1	◎			2							
	動物内科看護学実習	2	◎					4					
	動物外科看護学実習	1	◎					2					
	動物臨床検査学実習	1	◎					2					
	動物臨床看護学実習	1	◎					2					
	動物福祉実習	2	◎					4					
	アドバンスト実習（臨床・リハビリ系）	4	◎1							8			◎1～◎3のいずれかを選択必修
	アドバンスト実習（検査・栄養系）	4	◎2							8			
	アドバンスト実習（福祉・行動系）	4	◎3							8			
	海外実習	2							*				※海外実習(*)は夏季休業中に実施するが、前期期間中に事前学習、後期期間中に事後学習を実施する。
	動物病院基礎実習	1	◎			2							
	動物看護総合実習	2								集中講義			
	特別実習Ⅰ	2				○							
	特別実習Ⅱ	2					○						※特別実習Ⅰ～Ⅳ(○)は、休業期間中、休日等を利用して各合計60時間以上行う。
	特別実習Ⅲ	2							○				
特別実習Ⅳ	2								○				
特別実習Ⅴ	8									☆		※教員の指導により特別実習ⅤまたはⅥ(☆)をもって卒業研究に置き換えることができる。	
特別実習Ⅵ	8									☆			
生物学実験	1				1							※生物学実験と化学実験は教職課程の実習科目	
化学実験	1							1					
その他	アニマルサイエンス研究	2								2			
	論文講読Ⅰ	1									1		
	論文講読Ⅱ	1										1	
	卒業研究	8	◎									4	4 通年開講
計		161		16	9	21	22	32	47	5	5	※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上	

共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
共通科目（基礎分野）	人間	哲学A	2		2									※共通科目は必修科目8単位を含め16単位以上を修得すること。	
		哲学B	2			2									
		倫理学B	2	◎		2									
		心理学A	2		2										
		心理学B	2			2									
	社会	歴史学B	2			2									
		日本国憲法	2			2									
		社会学	2			2									
	文化	文化史A	2		2										
		文学A	2		2										
	自然	数学I	2		2										
		物理学I	2		2										
		化学I	2		2										
		生物学I	2		2										
	語学	英語I	1		2										※語学のうち1単位以上修得すること。
		英語II	1			2									
		教養英語A	1		2										
		教養英語B	1			2									
		中国語I	1		2										
	韓国語I	韓国語I	1		2										
	保健体育	健康と生活	2		2										
		健康体育A	1		2										
		健康体育B	1			2									
	イテ エンタ スサ	情報I	1	◎	2										
		情報II	1	◎		2									
		統計学	2			2									
	ゼミ	基礎ゼミI	2	◎	3	1									
基礎ゼミII		1	◎			1	1								
基礎ゼミIII		1	◎					1	1						
	計	46		33	23	1	1	1	1	0	0				

専門基礎科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
人体の構造と機能及び心身の発達	人体の構造と機能Ⅰ	2	◎	4									※専門基礎科目・専門科目は必修科目104単位を含めて108単位以上を修得すること。
	人体の構造と機能Ⅰ実習	1	◎	3									
	人体の構造と機能Ⅱ	2	◎		4								
	人体の構造と機能Ⅱ実習	1	◎		3								
	人体の構造と機能Ⅲ	2	◎			4							
	人体の構造と機能Ⅲ実習	1	◎			3							
	運動生理学	2				2							
	運動学Ⅰ	2	◎	2	2								
	運動学Ⅱ	2	◎			2	2						
	人間発達学	2	◎		2								
疾病・障害の成り立ち及び回復過程の促進	医学概論	2	◎	2									
	病理学	1	◎		1								
	臨床心理学	1	◎		1								
	内部障害と臨床医学Ⅰ	1	◎			2							
	内部障害と臨床医学Ⅱ	1	◎				2						
	骨関節障害と臨床医学Ⅰ	1	◎			2							
	骨関節障害と臨床医学Ⅱ	1	◎				2						
	神経・筋系障害と臨床医学Ⅰ	1	◎			2							
	神経・筋系障害と臨床医学Ⅱ	1	◎				2						
	精神障害と臨床医学	1	◎			2							
	小児の障害と臨床医学	1	◎				1						
	老年期障害と臨床医学	1	◎				1						
スポーツ障害と臨床医学	1					1							
救急医学実践論	1	◎				1							
とリハビリの理念	リハビリテーション概論	2	◎	2									
	多職種連携論	1	◎			1							
	保健医療福祉論	1	◎	1									
	公衆衛生学	1				1							
実践活用	リハビリテーション工学	1				1							
	リハビリテーション医療英語	1					1						
	カウンセリング実践論	1					1						
	QOL・ターミナルケア論	1						1					
小計	41		14	13	19	15	3	0	0	0			

専門科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備 考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
基礎理学療法学	理学療法概論	1	◎	1										※専門基礎科目・専門科目は必修科目104単位を含めて108単位以上を修得すること。
	基礎理学療法学	2	◎	2										
	基礎理学療法学実習	1	◎	3										
	理学療法研究法	2	◎			2								
理学療法管理学	理学療法教育・管理学	2	◎					2						
	理学療法評価学	2	◎			2								
理学療法評価学	理学療法評価学実習Ⅰ	1	◎			3								
	理学療法評価学実習Ⅱ	1	◎			3								
理学療法治療学	運動療法学	2	◎			2								
	運動療法学実習	1	◎			3								
	物理療法学Ⅰ	1	◎		1									
	物理療法学Ⅱ	2	◎			2								
	義肢装具学Ⅰ	2	◎					2						
	義肢装具学Ⅱ	1	◎						1					
	日常生活活動学Ⅰ	1	◎			1								
	日常生活活動学Ⅱ	1	◎				1							
	スポーツ障害の理学療法	1	◎					1						
	運動器障害系理学療法学Ⅰ	1	◎				2							
	運動器障害系理学療法学Ⅱ	1	◎					2						
	神経障害系理学療法学Ⅰ	1	◎				2							
	神経障害系理学療法学Ⅱ	1	◎					2						
	内部障害系理学療法学Ⅰ	1	◎				2							
	内部障害系理学療法学Ⅱ	1	◎					2						
	小児理学療法学	1	◎						1					
	疾患別理学療法演習Ⅰ	1	◎						2					
	疾患別理学療法演習Ⅱ	1	◎							2				
	疾患別理学療法演習Ⅲ	1	◎								2			
	プロフェッショナルスキルⅠ	1	◎		1	1								
プロフェッショナルスキルⅡ	1	◎			1	1								
プロフェッショナルスキルⅢ	1	◎							2					
プロフェッショナルスキルⅣ	1	◎									2			
地域理学療法学	地域理学療法学	2	◎						2					
	生活環境学	1	◎					1						
	介護予防学	1	◎					1						
応用理学療法学	徒手理学療法	1	◎							1				
	臨床触診技術	1	◎				1							
	リスク管理実践	1	◎					1						
	福祉用具論	1	◎						1					
	予防理学療法	1	◎						1					
	国際医療活動	1	◎						1					
	運動解析学演習	1	◎						1					
臨床実習	臨床実習Ⅰ	1	◎		3									
	臨床実習Ⅱ	2	◎			6								
	臨床実習Ⅲ	8	◎						24					
	臨床実習Ⅳ	10	◎							30				
	臨床実習Ⅴ	1	◎								3			
学際的研究科目	支援技術と医療福祉	1	◎					1						
	アニマルセラピー概論	2	◎		2									
	HAIと比較認知科学	2	◎			2								
	理学療法と栄養	1	◎						1					
	教育学Ⅰ	2	◎		2									
	教育学Ⅱ	2	◎				2							
	リハビリテーション特論Ⅰ	1	◎	2										
	リハビリテーション特論Ⅱ	1	◎		2									
	リハビリテーション特論Ⅲ	1	◎			2								
	リハビリテーション特論Ⅳ	1	◎				2							
	リハビリテーション特論Ⅴ	1	◎					2						
	リハビリテーション特論Ⅵ	1	◎						2					
	リハビリテーション特論Ⅶ	1	◎							2				
リハビリテーション特論Ⅷ	1	◎								2				
卒業研究	2	◎									3	3		
小計	93			6	14	15	27	25	38	40	5			
計	134			20	27	34	42	28	38	40	5			

※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上。

資格等について

1 アスレティックトレーナー課程

◇アスレティックトレーナーとは

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（以下、公認ATという。）は、日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者の一つ（メディカル・コンディショニング資格）であり、唯一のアスレティックトレーナー資格として公認されたものです。

本学は、日本スポーツ協会の承認校として平成23年4月から、医療科学部東京柔道整復学科及び令和元年4月から医療科学部柔道整復学科と東京理学療法学科、令和7年4月から医療科学部理学療法学科と作業療法学科にアスレティックトレーナー課程（以下、AT課程という。）を開設しました。

AT課程の目的は、機能解剖や運動学に関する専門的な知識を有し、スポーツ活動現場において、競技者の外傷・障害予防、救急対応、コンディショニングにあたるとともに、スポーツ外傷・障害を受けた競技者の競技復帰までのリコンディショニングができる技能を持つ指導者を養成することです。

公認ATの役割は、スポーツドクター及びコーチと緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、スポーツ活動中の外傷・障害予防、救急対応、リコンディショニング及び体カトレニング、コンディショニング等を統合的な視点を持ってサポートすることにあります。

詳しくは、AT課程専門科目「JSPO-ATの役割」の授業で説明します。

◇履修登録及びAT課程履修費

AT課程の履修を希望する理学療法学科の1年次生は、AT課程ガイダンスに必ず出席してください。このガイダンスに出席しない者は、履修登録を受け付けません。

AT課程履修費として40,000円が必要となります。

また、別途、現場実習費を徴収する場合があります。徴収したAT課程履修費、現場実習費は、いかなる理由があっても返還しません。

◇AT課程の現場実習

現場実習は、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会講習・試験免除適応コースアスレティックトレーナーコース現場実習計画書」に基づき実施されます。

現場実習についての説明は、AT課程ガイダンスで行います。

◇公認ATの資格取得及び履修科目（帝京科学大学履修規則別記5より抜粋）

次の授業科目を履修し、必要な単位数を取得すれば、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目講習・試験免除適応コース検定試験の受験資格を得ることができます。

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目講習・試験免除適応コース検定試験（実技試験、理論試験）に合格し、日本スポーツ協会に登録手続をすることにより、「公認AT」として認定されます。

(アスレティックトレーナー養成のための課程の履修)

履修規則第24条に基づく、アスレティックトレーナー課程の履修は次表のとおりとする。
以下の科目は、すべて修得すること。

理学療法学科

日本スポーツ協会指定科目		本学開講科目名		履修年次
科目内容		授業科目	単位	
共通科目	コーチングを理解しよう 1.コーチングとは 2.コーチに求められる役割 3.コーチに求められる知識とスキル 4.対他者力を磨こう 5.対自己力を磨こう 6.スポーツの意義と価値 7.スポーツの価値を守るスポーツ権 8.スポーツの自治ーガバナンスとコンプライアンスー 9.暴力・ハラスメントの根絶 10.スポーツのインテグリティ 11.スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 12.スポーツ仲裁 13.スポーツ倫理 14.時代をリードするコーチング	コーチング論Ⅰ 体育・スポーツ経営学	2 2	1年前期 1年後期
	グッドコーチに求められる医・科学的知識 1.スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系 2.体力のトレーニング 3.スキルトレーニング 4.心のトレーニング 5.スポーツと栄養 6.スポーツに関連する医学的知識 7.アンチ・ドーピング	スポーツ心理学基礎 スポーツと食事 スポーツ障害と臨床医学 スポーツトレーナー入門	1 1 1 2	2年前期 2年前期 2年後期 1年後期
	現場・環境に応じたコーチング 1.コーチング環境の特徴 2.ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング 3.スポーツ組織のマネジメント 4.障がい者とスポーツ	コーチング論Ⅱ	2	2年後期
専門科目	JSPO-AT の役割 1) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは 2) JSPO-AT のコンピテンシーに応じた業務と運営 3) JSPO-AT の活動と倫理および運営管理 4) JSPO-AT の安全と健康管理、セルフマネージメント 5) スポーツ医・科学チームとスタッフ 6) エビデンスに基づいた運営 (EBP) 7) 関係者・対象者とのコミュニケーション	JSPO-AT の役割	2	1年前期
	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 1) スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 2) スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 3) 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 4) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防における JSPO-AT の役割 5) 健康管理 6) スポーツ外傷・障害の予防 7) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用 8) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼす各種要因への対応	AT 総合演習Ⅰ AT 総合演習Ⅱ	2 4	2年前期 3年前期

専 門 科 目	コンディショニング 1) JSPO-AT の役割としてのコンディショニング 2) コンディショニングのプログラムデザイン 3) 競技特性の分析 4) トレーニング各論 5) コンディショニングに関するそのほかの情報	コンディショニングⅠ コンディショニングⅡ	4 2	1年後期 3年前期
	リコンディショニング 1) リコンディショニング総論 2) リコンディショニングで用いる代表的な手法 3) リコンディショニングにおける評価とプログラミング 4) リコンディショニングに必要な組織修復、治癒過程の知識 5) 機能的、身体的な状態に応じたリコンディショニング 6) 部位ごとの状態に応じたリコンディショニング 7) スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング	リコンディショニングⅠ リコンディショニングⅡ	4 2	2年後期 3年前期
	救急対応 1) スポーツ現場と救急対応 2) 救急対応の考え方 3) スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画 4) スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順 5) 外傷時の救急対応 6) 内科的疾患に対する救急対応 7) 各競技における救急体制の実際	AT 救急対応 AT 救急対応（実践）	2 2	2年後期 3年前期
	検査・測定と評価 1) JSPO-AT の行う検査・測定・評価とは 2) JSPO-AT の行う検査・測定・評価の実際	検査・測定と評価（実習含む）	2	2年後期
	人体の解剖と機能 1) 上肢・体幹 2) 骨盤・下肢	人体の構造と機能Ⅰ 運動学Ⅰ	2 2	1年前期 1年通年
	スポーツ科学 1) 運動生理学 2) バイオメカニクス 3) 体力・運動能力向上と外傷・障害予防に必要なスポーツ科学の応用知識 4) スポーツ科学の基礎知識の体力・運動能力向上と外傷・障害への活用	スポーツ科学 バイオメカニクス 運動生理学	2 2 2	1年前期 2年後期 2年前期
	スポーツ医学 1) 上肢・体幹・下肢の代表的なスポーツ外傷・障害 2) スポーツ現場で起こりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病 3) スポーツ活動と関連する代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血液疾患等 4) スポーツ現場で起こりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病 5) 対象別（女性、高齢者、発育期、パラアスリート）によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項	スポーツ医学概論 健康管理とスポーツ医学	2 2	2年後期 3年前期
	見学実習	アスレティックトレーナー見学実習	1	1年前期
現 場 実 習	スポーツ現場実習 （ストレッチング、テーピング、応急措置等）	アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1	1年後期
	検査・測定と評価実習、 アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	1	2年前期
	アスレティックリハビリテーション実習 （プログラム作成、実施等）	アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	1	2年後期
	総合実習	アスレティックトレーナー総合実習	2	3年後期

2 トレーニング指導者課程

◇トレーニング指導者（以下、ATIという。）とは

特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（以下、JATIという。）が認定する資格の一つで、トレーニング指導の対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得したと認められた者に授与されます。スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導の専門家として活動するための基礎資格として位置づけられています。

本学は、JATIの養成校として平成24年4月から、医療科学部東京柔道整復学科及び平成26年4月から医療科学部柔道整復学科ならびに令和7年4月から理学療法学科、作業療法学科にトレーニング指導者課程（以下、ATI課程）を開設しました。

ATI資格取得者は、競技スポーツ分野（プロや社会人チームのトレーニングコーチ、高校や大学の運動部のトレーニング指導者、アスリートを対象としたトレーニングの個人指導を行うパーソナルトレーナーなど）や健康増進分野（民間及び公共運動施設（フィットネスクラブや市町村体育館など）の運動指導者や一般人を対象としたパーソナルトレーナーなど）などで活躍しています。

◇履修登録及びトレーニング指導者課程履修費

ATI課程の履修を希望する理学療法学科1年次生は、ATI課程ガイダンスに必ず出席すること。このガイダンスに出席しない者は、履修登録を受け付けません。

ATI課程履修費として20,000円が必要となります。

徴収したATI課程履修費は、いかなる理由があっても返還しません。

◇ATIの資格取得及び履修科目（帝京科学大学履修規則別記6より抜粋）

次の授業科目を履修し、必要な単位数を取得すれば、ATI認定試験の受験資格を得ることができます。

ATI認定試験に合格し、JATIの会員登録手続きをすることにより、ATIとして認定されます。

（トレーニング指導者養成のための課程の履修）

履修規則第25条に基づく、ATI課程の履修は、次表のとおりとする。

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラムの各科目名に対応する本学開講科目をすべて履修すること。ただし、対応する本学開講科目名が複数ある場合は、いずれか1科目以上を修得すること。ただし、

（ ）カッコで囲まれた科目は、複数科目の履修を必須とする。

理学療法学科

1 一般科目

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラム		対応する本学開講科目名
領域	科目名	
A. 体カトレーニング総論	体カトレーニング総論	スポーツトレーナー入門
B. 機能解剖	機能解剖Ⅲ(1) 上肢	2 科目全て(人体の構造と機能Ⅰ、運動学Ⅰ)
	機能解剖Ⅲ(2) 脊柱と胸部	
	機能解剖Ⅲ(3) 骨盤と下肢	
C. バイオメカニクス	バイオメカニクス(1) 基礎理論	バイオメカニクス
	バイオメカニクス(2) スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス	
D. 運動生理学	運動生理学(1) 呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動	運動生理学
	運動生理学(2) 骨格筋系・神経系・内分泌系と運動	
E. 運動と栄養	運動と栄養(1) 運動と栄養の基礎理論	スポーツと食事
	運動と栄養(2) 対象と目的に応じた栄養摂取	
F. 運動と心理	運動と心理(1) 運動と心理の基礎理論	スポーツ心理学基礎
	運動と心理(2) 運動学習と指導法	
G. 運動と医学	運動と医学(1) 生活習慣病	スポーツ障害と臨床医学
	運動と医学(2) スポーツ傷害	
	運動と医学(3) 救命救急法	AT 救急対応

2 専門科目

A. トレーニング指導者論	トレーニング指導者の役割	スポーツトレーナー入門
	トレーニング指導者の実務	2 科目全て(コーチング論Ⅰ、スポーツトレーナー入門)
B. 測定と評価	トレーニング効果の測定と評価	検査・測定と評価(実習含む)
	測定データの分析とデータの活用	
C. トレーニング理論とプログラム	長期的トレーニング計画	コンディショニングⅠ
	レジスタンストレーニング	
	パワートレーニング	
	持続カトレーニング	
	スピードトレーニング	
	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップ、クールダウン、リカバリー	2 科目全て(コンディショニングⅠ、コンディショニングⅡ)
	特別な対象のためのトレーニングとプログラム	
生活習慣病、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム		
D. トレーニングの実技と指導法 ※実習を伴う内容であることが必要	レジスタンストレーニングの実技と指導法	コンディショニングⅠ
	パワートレーニングの実技と指導法	
	持続カトレーニングの実技と指導法	
	スピードトレーニングの実技と指導法	
	ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法	

注記 帝京科学大学履修規則別表(理学療法学科)の授業科目: 人体の構造と機能Ⅰ、運動学Ⅰ、運動生理学、スポーツ障害と臨床医学

共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
共通科目（基礎分野）	人間	哲学A	2		2									※共通科目は必修科目6単位を含め16単位以上を修得すること。	
		哲学B	2			2									
		倫理学B	2	◎		2									
		心理学A	2		2										
		心理学B	2			2									
	社会	歴史学B	2			2									
		日本国憲法	2			2									
		社会学	2			2									
	文化	文化史A	2		2										
		文学A	2		2										
	自然	数学I	2		2										
		物理学I	2		2										
		化学I	2		2										
		生物学I	2		2										
	語学	英語I	1		2										※語学から1単位以上修得すること。
		英語II	1			2									
		教養英語A	1			2									
		教養英語B	1			2									
		中国語I	1		2										
	韓国語I	1		2											
	保健体育	健康と生活	2		2										
		健康体育A	1		2										
		健康体育B	1			2									
	イテ エ ン タ ス サ	情報I	1	◎	2										
		情報II	1	◎		2									
		統計学	2			2									
ゼミ	基礎ゼミ	2	◎	2											
計		44		32	22	0	0	0	0	0	0	0			

専門基礎科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
専門基礎科目（専門基礎分野）	人体の構造と機能Ⅰ	2	◎	4									※専門基礎科目・専門科目は必修科目100単位を含めて105単位以上を修得すること。
	人体の構造と機能Ⅰ実習	1	◎	3									
	人体の構造と機能Ⅱ	2	◎		4								
	人体の構造と機能Ⅱ実習	1	◎		3								
	人体の構造と機能Ⅲ	2	◎			4							
	人体の構造と機能Ⅲ実習	1	◎			3							
	基礎医学応用	1					1						
	運動学	2	◎		2								
	運動学実習	1	◎			3							
	人間発達学	2	◎		2								
	医学概論	2	◎	2									
	臨床心理学	1	◎		1								
	内部障害と臨床医学Ⅰ	1	◎			2							
	内部障害と臨床医学Ⅱ	1	◎				2						
	骨関節障害と臨床医学Ⅰ	1	◎			2							
	骨関節障害と臨床医学Ⅱ	1	◎				2						
	神経・筋系障害と臨床医学Ⅰ	1	◎			2							
	神経・筋系障害と臨床医学Ⅱ	1	◎				2						
	精神障害と臨床医学	1	◎				2						
	小児の障害と臨床医学	1	◎					1					
	スポーツ障害と臨床医学	1					1						
	老年期障害と臨床医学	1	◎				1						
	救急医学実践論	1	◎				1						
	病理学	1	◎		1								
	多職種連携論	1	◎				1						
	リハビリテーション概論	2	◎	2									
	保健医療福祉論	1	◎	1									
	公衆衛生学	1					1						
	リハビリテーション工学	1					1						
	カウンセリング実践論	1						1					
	QOL・ターミナルケア論	1						1					
	リハビリテーション医療英語	1							1				
	小計		39		12	13	18	14	3	0	0	0	

専門科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備 考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門科目（専門分野）	基礎作業療法学	1	◎	2										※専門基礎科目・専門科目は必修科目100単位を含めて105単位以上を修得すること。	
	作業療法基礎技法学	1	◎	2											
	作業療法基礎技法学実習	1	◎		3										
	作業療法研究法	1	◎					2							
	作業療法研究法応用	1	◎							1					
	作業科学	1	◎		2										
	医療統計学	1						1							
	作業療法理論	1	◎	2											
	環境と健康	1		1											
	作業療法管理学	1	◎					1							
	作業療法教育・職業倫理	2	◎					2							
	作業療法評価学	1	◎			2									
	作業療法評価学Ⅱ	1	◎			2									
	作業療法評価学Ⅲ	1	◎			2									
	作業療法基礎評価学	1	◎			2									
	作業療法評価学実習	1	◎					3							
	作業療法治療学	1	◎					2							
	生活支援機器学	1	◎					2							
	生活活動学基礎	2	◎			2									
	生活活動学応用	1	◎					2							
	身体障害の作業療法基礎	2	◎			2									
	身体障害の作業療法応用	1	◎					2							
	高次脳機能障害の作業療法	2	◎					2							
	老年期障害の作業療法	2	◎					2							
	精神障害の作業療法基礎	2	◎			2									
	精神障害の作業療法応用	1	◎					2							
	子どもの作業療法基礎	2	◎			2									
	子どもの作業療法応用	1	◎					2							
	認知症の作業療法	1							1						
	作業療法技術演習	1	◎					2							
	地域作業療法学	2	◎			2									
	在宅作業療法	2	◎						2						
	社会生活支援学	1						1							
	臨床実習	1	◎		3										
	臨床実習Ⅱ	2	◎			6									
	臨床実習Ⅲ	3	◎						9						
	臨床実習Ⅳ	8	◎						24						
	臨床実習Ⅴ	8	◎							24					
	地域実習	1	◎							3					
	学際的研究科目	支援技術と医療福祉	1						1						※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上。
		アニマルセラピー概論	2			2									
		HAIと比較認知科学	2			2									
	作業療法特論	1			1										
	作業療法セミナーⅠ	1	◎	1											
	作業療法セミナーⅡ	1	◎	1											
	作業療法セミナーⅢ	1	◎		1										
	作業療法セミナーⅣ	1	◎			1									
	作業療法セミナーⅤ	1	◎				1								
	作業療法セミナーⅥ	1	◎					1							
	作業療法セミナーⅦ	1	◎							3					
	作業療法セミナーⅧ	1	◎								3				
	教育学Ⅰ	2			2										
	教育学Ⅱ	2				2									
	国際医療活動	1						1							
	卒業研究	2								3	3				
	小計	86		8	14	11	19	31	38	30	9				
	計	125		20	27	29	33	34	38	30	9				

資格等について

1 アスレティックトレーナー課程

◇アスレティックトレーナーとは

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（以下、公認ATという。）は、日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者の一つ（メディカル・コンディショニング資格）であり、唯一のアスレティックトレーナー資格として公認されたものです。

本学は、日本スポーツ協会の承認校として平成23年4月から、医療科学部東京柔道整復学科及び令和元年4月から医療科学部柔道整復学科と東京理学療法学科、令和7年4月から医療科学部理学療法学科と作業療法学科にアスレティックトレーナー課程（以下、AT課程という。）を開設しました。

AT課程の目的は、機能解剖や運動学に関する専門的な知識を有し、スポーツ活動現場において、競技者の外傷・障害予防、救急対応、コンディショニングにあたるとともに、スポーツ外傷・障害を受けた競技者の競技復帰までのリコンディショニングができる技能を持つ指導者を養成することです。

公認ATの役割は、スポーツドクター及びコーチと緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、スポーツ活動中の外傷・障害予防、救急対応、リコンディショニング及び体カトレニング、コンディショニング等を統合的な視点を持ってサポートすることにあります。

詳しくは、AT課程専門科目「JSPO-ATの役割」の授業で説明します。

◇履修登録及びAT課程履修費

AT課程の履修を希望する作業療法学科の1年次生は、AT課程ガイダンスに必ず出席してください。このガイダンスに出席しない者は、履修登録を受け付けません。

AT課程履修費として40,000円が必要となります。

また、別途、現場実習費を徴収する場合があります。徴収したAT課程履修費、現場実習費は、いかなる理由があっても返還しません。

◇AT課程の現場実習

現場実習は、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会講習・試験免除適応コースアスレティックトレーナーコース現場実習計画書」に基づき実施されます。

現場実習についての説明は、AT課程ガイダンスで行います。

◇公認ATの資格取得及び履修科目（帝京科学大学履修規則別記5より抜粋）

次の授業科目を履修し、必要な単位数を取得すれば、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目講習・試験免除適応コース検定試験の受験資格を得ることができます。

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目講習・試験免除適応コース検定試験（実技試験、理論試験）に合格し、日本スポーツ協会に登録手続をすることにより、「公認AT」として認定されます。

(アスレティックトレーナー養成のための課程の履修)

履修規則第24条に基づく、アスレティックトレーナー課程の履修は次表のとおりとする。
以下の科目は、すべて修得すること。

作業療法学科

日本スポーツ協会指定科目		本学開講科目名		履修年次
科目内容		授業科目	単位	
共通科目	コーチングを理解しよう 1.コーチングとは 2.コーチに求められる役割 3.コーチに求められる知識とスキル 4.対他者力を磨こう 5.対自己力を磨こう 6.スポーツの意義と価値 7.スポーツの価値を守るスポーツ権 8.スポーツの自治ーガバナンスとコンプライアンスー 9.暴力・ハラスメントの根絶 10.スポーツのインテグリティ 11.スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 12.スポーツ仲裁 13.スポーツ倫理 14.時代をリードするコーチング	コーチング論Ⅰ 体育・スポーツ経営学	2 2	1年前期 1年後期
	グッドコーチに求められる医・科学的知識 1.スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系 2.体力のトレーニング 3.スキルトレーニング 4.心のトレーニング 5.スポーツと栄養 6.スポーツに関連する医学的知識 7.アンチ・ドーピング	スポーツ心理学基礎 スポーツと食事 スポーツ障害と臨床医学 スポーツトレーナー入門	1 1 1 2	2年前期 2年前期 2年後期 1年後期
	現場・環境に応じたコーチング 1.コーチング環境の特徴 2.ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング 3.スポーツ組織のマネジメント 4.障がい者とスポーツ	コーチング論Ⅱ	2	2年後期
専門科目	JSPO-AT の役割 1) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは 2) JSPO-AT のコンピテンシーに応じた業務と運営 3) JSPO-AT の活動と倫理および運営管理 4) JSPO-AT の安全と健康管理、セルフマネージメント 5) スポーツ医・科学チームとスタッフ 6) エビデンスに基づいた運営 (EBP) 7) 関係者・対象者とのコミュニケーション	JSPO-AT の役割	2	1年前期
	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 1) スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 2) スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 3) 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 4) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防における JSPO-AT の役割 5) 健康管理 6) スポーツ外傷・障害の予防 7) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用 8) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼす各種要因への対応	AT 総合演習Ⅰ AT 総合演習Ⅱ	2 4	2年前期 3年前期

専 門 科 目	コンディショニング 1) JSPO-ATの役割としてのコンディショニング 2) コンディショニングのプログラムデザイン 3) 競技特性の分析 4) トレーニング各論 5) コンディショニングに関するそのほかの情報	コンディショニングⅠ コンディショニングⅡ	4 2	1年後期 3年前期
	リコンディショニング 1) リコンディショニング総論 2) リコンディショニングで用いる代表的な手法 3) リコンディショニングにおける評価とプログラミング 4) リコンディショニングに必要な組織修復、治癒過程の知識 5) 機能的、身体的な状態に応じたリコンディショニング 6) 部位ごとの状態に応じたリコンディショニング 7) スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング	リコンディショニングⅠ リコンディショニングⅡ	4 2	2年後期 3年前期
	救急対応 1) スポーツ現場と救急対応 2) 救急対応の考え方 3) スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画 4) スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順 5) 外傷時の救急対応 6) 内科的疾患に対する救急対応 7) 各競技における救急体制の実践	AT 救急対応 AT 救急対応(実践)	2 2	2年後期 3年前期
	検査・測定と評価 1) JSPO-ATの行う検査・測定・評価とは 2) JSPO-ATの行う検査・測定・評価の実際	検査・測定と評価(実習含む)	2	2年後期
	人体の解剖と機能 1) 上肢・体幹 2) 骨盤・下肢	人体の構造と機能Ⅰ 運動学 運動学実習	2 2 1	1年前期 1年後期 2年前期
	スポーツ科学 1) 運動生理学 2) バイオメカニクス 3) 体力・運動能力向上と外傷・障害予防に必要なスポーツ科学の応用知識 4) スポーツ科学の基礎知識の体力・運動能力向上と外傷・障害への活用	スポーツ科学 バイオメカニクス 運動生理学	2 2 2	1年前期 2年後期 2年前期
	スポーツ医学 1) 上肢・体幹・下肢の代表的なスポーツ外傷・障害 2) スポーツ現場で起こりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病 3) スポーツ活動と関連する代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血液疾患等 4) スポーツ現場で起こりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病 5) 対象別(女性、高齢者、発育期、パラアスリート)によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項	スポーツ医学概論 健康管理とスポーツ医学	2 2	2年後期 3年前期
	見学実習	アスレティックトレーナー見学実習	1	1年前期
	スポーツ現場実習 (ストレッチング、テーピング、応急措置等)	アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1	1年後期
	検査・測定と評価実習、 アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	1	2年前期
アスレティックリハビリテーション実習 (プログラム作成、実施等)	アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	1	2年後期	
総合実習	アスレティックトレーナー総合実習	2	3年後期	

2 トレーニング指導者課程

◇トレーニング指導者（以下、ATIという。）とは

特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（以下、JATIという。）が認定する資格の一つで、トレーニング指導の対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得したと認められた者に授与されます。スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導の専門家として活動するための基礎資格として位置づけられています。

本学は、JATIの養成校として平成24年4月から、医療科学部東京柔道整復学科及び平成26年4月から医療科学部柔道整復学科ならびに令和7年4月から理学療法学科、作業療法学科にトレーニング指導者課程（以下、ATI課程）を開設しました。

ATI資格取得者は、競技スポーツ分野（プロや社会人チームのトレーニングコーチ、高校や大学の運動部のトレーニング指導者、アスリートを対象としたトレーニングの個人指導を行うパーソナルトレーナーなど）や健康増進分野（民間及び公共運動施設（フィットネスクラブや市町村体育館など）の運動指導者や一般人を対象としたパーソナルトレーナーなど）などで活躍しています。

◇履修登録及びトレーニング指導者課程履修費

ATI課程の履修を希望する作業療法学科1年次生は、ATI課程ガイダンスに必ず出席すること。このガイダンスに出席しない者は、履修登録を受け付けません。

ATI課程履修費として20,000円が必要となります。

徴収したATI課程履修費は、いかなる理由があっても返還しません。

◇ATIの資格取得及び履修科目（帝京科学大学履修規則別記6より抜粋）

次の授業科目を履修し、必要な単位数を取得すれば、ATI認定試験の受験資格を得ることができます。

ATI認定試験に合格し、JATIの会員登録手続きをすることにより、ATIとして認定されます。

（トレーニング指導者養成のための課程の履修）

履修規則第25条に基づく、ATI課程の履修は、次表のとおりとする。

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラムの各科目名に対応する本学開講科目をすべて履修すること。ただし、対応する本学開講科目名が複数ある場合は、いずれか1科目以上を修得すること。ただし、

（ ）カッコで囲まれた科目は、複数科目の履修を必須とする。

作業療法学科

1 一般科目

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラム		対応する本学開講科目名
領域	科目名	
A. 体カトレーニング総論	体カトレーニング総論	スポーツトレーナー入門
B. 機能解剖	機能解剖Ⅲ(1) 上肢	3科目全て(人体の構造と機能Ⅰ、運動学、運動学実習)
	機能解剖Ⅲ(2) 脊柱と胸部	
	機能解剖Ⅲ(3) 骨盤と下肢	
C. バイオメカニクス	バイオメカニクス(1) 基礎理論	バイオメカニクス
	バイオメカニクス(2) スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス	
D. 運動生理学	運動生理学(1) 呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動	運動生理学
	運動生理学(2) 骨格筋系・神経系・内分泌系と運動	
E. 運動と栄養	運動と栄養(1) 運動と栄養の基礎理論	スポーツと食事
	運動と栄養(2) 対象と目的に応じた栄養摂取	
F. 運動と心理	運動と心理(1) 運動と心理の基礎理論	スポーツ心理学基礎
	運動と心理(2) 運動学習と指導法	
G. 運動と医学	運動と医学(1) 生活習慣病	スポーツ障害と臨床医学
	運動と医学(2) スポーツ傷害	
	運動と医学(3) 救命救急法	AT 救急対応

2 専門科目

A. トレーニング指導者論	トレーニング指導者の役割	スポーツトレーナー入門
	トレーニング指導者の実務	2科目全て(コーチング論Ⅰ、スポーツトレーナー入門)
B. 測定と評価	トレーニング効果の測定と評価	検査・測定と評価(実習含む)
	測定データの分析とデータの活用	
C. トレーニング理論とプログラム	長期的トレーニング計画	コンディショニングⅠ
	レジスタンストレーニング	
	パワートレーニング	
	持続カトレーニング	
	スピードトレーニング	
	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップ、クールダウン、リカバリー	2科目全て(コンディショニングⅠ、コンディショニングⅡ)
	特別な対象のためのトレーニングとプログラム	
生活習慣病、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム		
D. トレーニングの実技と指導法 ※実習を伴う内容であることが必要	レジスタンストレーニングの実技と指導法	コンディショニングⅠ
	パワートレーニングの実技と指導法	
	持続カトレーニングの実技と指導法	
	スピードトレーニングの実技と指導法	
	ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法	

注記 帝京科学大学履修規則別表(作業療法学科)の授業科目: 人体の構造と機能Ⅰ、運動学、運動学実習、スポーツ障害と臨床医学

共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目（基礎分野）	人間	哲学A	2		2								※共通科目は必修科目12単位を含め14単位以上を修得すること。	
		哲学B	2			2								
		倫理学B	2	◎		2								
		心理学A	2		2									
		心理学B	2			2								
	社会	歴史学A	2		2									※語学から1単位以上修得すること。
		歴史学B	2			2								
		法学	2		2									
		日本国憲法	2			2								
		経済学	2		2									
		社会学	2			2								
	文化	文化史A	2		2									
		文学B	2			2								
		文学A	2				2							
	自然	数学I	2		2									
		物理学I	2		2									
		化学I	2		2									
		生物学I	2		2									
	語学	英語I	1		2									
		英語II	1			2								
		教養英語A	1		2									
		教養英語B	1			2								
	保健体育	健康と生活	2		2									
		健康体育A	1		2									
		健康体育B	1			2								
	イデ エ ン タ ス サ	情報I	1	◎	2									
		情報II	1	◎		2								
		統計学	2			2								
	キャ リ ア	キャリアデザインI	2			2								
		実践日本語会話	2				2							
		時事問題解説	2				2							
	ゼミ	フレッシュセミナーI	2	◎	2	2								
フレッシュセミナーII		2	◎			2	2							
アドバンスセミナーI		2	◎					2	2					
アドバンスセミナーII		2	◎							2	2			
計		62		32	30	6	2	2	2	2	2			

専門基礎科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門基礎科目（専門基礎分野）	人体の理解	解剖学Ⅰ	2	◎	2										※専門科目（専門基礎科目・専門科目）は必修科目106単位以上を修得すること。
		解剖学Ⅱ	2	◎		2									
		解剖学Ⅲ	2	◎			2								
		解剖学Ⅳ	2	◎				2							
		生理学Ⅰ	2	◎	2										
		生理学Ⅱ	2	◎		2									
		生理学Ⅲ	2	◎			2								
		生理学Ⅳ	2	◎				2							
		運動学Ⅰ	1	◎			2								
		運動学Ⅱ	1	◎				2							
	疾病・傷害の理解	外科学	2	◎					2						
		病理学	1	◎				2							
		人体の生理学的特性と変化	1	◎			2								
		一般臨床医学Ⅰ	2	◎					2						
		一般臨床医学Ⅱ	2	◎						2					
		整形外科科学基礎	1	◎			2								
		整形外科科学臨床	1	◎				2							
		スポーツ障害と臨床医学	1					1							
		高齢者保健学	2							2					
		リハビリテーション各論	2	◎						2					
	実践活用	臨床医学診断法	2	◎								2			
		公衆衛生学	2	◎			2								
		柔道整復の適応	2	◎					2						
		社会保障制度	1	◎								2			
		ヒトの運動と呼吸の生理	2					2							
		救急医療	1	◎						2					
		スポーツトレーナー入門	2			2									
		職業倫理及び関係法規	2	◎								2			
	柔道実技	2	◎	2	2										
	地域保健スポーツ医療概論	2								2					
徒手療法	2									2					
小計	53			6	8	10	15	8	10	6	0				

専門科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目（専門分野）	基礎柔道整復総論Ⅰ	2	◎	2										※専門科目（専門基礎科目・専門科目）は必修科目106単位以上を修得すること。
	基礎柔道整復総論Ⅱ	2	◎	2										
	基礎柔道整復総論Ⅲ	2	◎	2										
	基礎柔道整復総論Ⅳ	2	◎		2									
	基礎柔道整復総論Ⅴ	2	◎			2								
	臨床柔道整復治療学	2	◎									2		
	臨床柔道整復各論Ⅰ	1	◎			2								
	臨床柔道整復各論Ⅱ	1	◎			2								
	臨床柔道整復各論Ⅲ	1	◎			2								
	臨床柔道整復各論Ⅳ	1	◎		2									
	臨床柔道整復各論Ⅴ	1	◎				2							
	臨床柔道整復各論Ⅵ	1	◎				2							
	臨床柔道整復各論Ⅶ	1	◎		2									
	臨床柔道整復各論Ⅷ	1	◎				2							
	臨床柔道整復各論Ⅸ	1	◎				2							
	臨床柔道整復各論Ⅹ	1	◎				2							
	柔道整復演習Ⅰ	1	◎				2							
	柔道整復演習Ⅱ	1	◎					2						
	柔道整復演習Ⅲ	1	◎						2					
	柔道整復演習Ⅳ	1	◎				2							
	柔道整復演習Ⅴ	1	◎					2						
	柔道整復演習Ⅵ	1	◎						2					
	柔道整復演習Ⅶ	1	◎						2					
	柔道整復演習Ⅷ	1	◎						2					
	柔道整復演習Ⅸ	1	◎						2					
	柔道整復総合演習Ⅰ	2	◎							2	2			
	柔道整復総合演習Ⅱ	2	◎								2	2		
	基礎整復技術実習Ⅰ	2	◎		2	2								
	基礎整復技術実習Ⅱ	2	◎			4								
	基礎整復技術実習Ⅲ	2	◎			4								
	臨床整復技術実習Ⅰ	2	◎				4							
	臨床整復技術実習Ⅱ	2	◎				4							
	臨床整復技術実習Ⅲ	2	◎				4							
臨床整復技術実習Ⅳ	2	◎						4						
臨床整復技術実習Ⅴ	2	◎						4						
臨床整復技術実習Ⅵ	2	◎				4								
臨床整復技術実習Ⅶ	2	◎						4						
臨床整復技術実習Ⅷ	2	◎						4						
臨床整復総合演習Ⅰ	1	◎						2						
臨床整復総合演習Ⅱ	1	◎							2					
臨床整復総合演習Ⅲ	1	◎								2				
臨床実習Ⅰ	1	◎		3										
臨床実習Ⅱ	1	◎			3									
臨床実習Ⅲ	1	◎				3								
臨床実習Ⅳ	1	◎							3					
柔道セラピー研究法	1							2						
卒業研究	4									4	4			
小計	69			8	19	16	11	20	23	22	11			
計	122			14	27	26	26	28	33	28	11			

※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上。

資格等について

1 アスレティックトレーナー課程

◇アスレティックトレーナーとは

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（以下、公認ATという。）は、日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者の一つ（メディカル・コンディショニング資格）であり、唯一のアスレティックトレーナー資格として公認されたものです。

本学は、日本スポーツ協会の承認校として平成23年4月から、医療科学部東京柔道整復学科及び令和元年4月から医療科学部柔道整復学科と東京理学療法学科、令和7年4月から医療科学部理学療法学科と作業療法学科にアスレティックトレーナー課程（以下、AT課程という。）を開設しました。

AT課程の目的は、機能解剖や運動学に関する専門的な知識を有し、スポーツ活動現場において、競技者の外傷・障害予防、救急対応、コンディショニングにあたるとともに、スポーツ外傷・障害を受けた競技者の競技復帰までのリコンディショニングができる技能を持つ指導者を養成することです。

公認ATの役割は、スポーツドクター及びコーチと緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、スポーツ活動中の外傷・障害予防、救急対応、リコンディショニング及び体カトレニング、コンディショニング等を統合的な視点を持ってサポートすることにあります。

詳しくは、AT課程専門科目「JSPO-ATの役割」の授業で説明します。

◇履修登録及びAT課程履修費

AT課程の履修を希望する柔道整復学科の1年次生は、AT課程ガイダンスに必ず出席してください。このガイダンスに出席しない者は、履修登録を受け付けません。

AT課程履修費として40,000円が必要となります。

また、別途、現場実習費を徴収する場合があります。徴収したAT課程履修費、現場実習費は、いかなる理由があっても返還しません。

◇AT課程の現場実習

現場実習は、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会講習・試験免除適応コースアスレティックトレーナーコース現場実習計画書」に基づき実施されます。

現場実習についての説明は、AT課程ガイダンスで行います。

◇公認ATの資格取得及び履修科目（帝京科学大学履修規則別記5より抜粋）

次の授業科目を履修し、必要な単位数を取得すれば、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目講習・試験免除適応コース検定試験の受験資格を得ることができます。

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目講習・試験免除適応コース検定試験（実技試験、理論試験）に合格し、日本スポーツ協会に登録手続をすることにより、「公認AT」として認定されます。

(アスレティックトレーナー養成のための課程の履修)

履修規則第24条に基づく、アスレティックトレーナー課程の履修は次表のとおりとする。
以下の科目は、すべて修得すること。

柔道整復学科

日本スポーツ協会指定科目		本学開講科目名		履修年次
科目内容		授業科目	単位	
共通科目	コーチングを理解しよう 1.コーチングとは 2.コーチに求められる役割 3.コーチに求められる知識とスキル 4.対他者力を磨こう 5.対自己力を磨こう 6.スポーツの意義と価値 7.スポーツの価値を守るスポーツ権 8.スポーツの自治-ガバナンスとコンプライアンス- 9.暴力・ハラスメントの根絶 10.スポーツのインテグリティ 11.スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 12.スポーツ仲裁 13.スポーツ倫理 14.時代をリードするコーチング	コーチング論Ⅰ 体育・スポーツ経営学	2 2	1年前期 1年後期
	グッドコーチに求められる医・科学的知識 1.スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系 2.体力のトレーニング 3.スキルトレーニング 4.心のトレーニング 5.スポーツと栄養 6.スポーツに関連する医学的知識 7.アンチ・ドーピング	スポーツ心理学基礎 スポーツと食事 スポーツ障害と臨床医学 スポーツトレーナー入門	1 1 1 2	2年前期 2年前期 2年後期 1年後期
	現場・環境に応じたコーチング 1.コーチング環境の特徴 2.ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング 3.スポーツ組織のマネジメント 4.障がい者とスポーツ	コーチング論Ⅱ	2	2年後期
専門科目	JSPO-AT の役割 1) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは 2) JSPO-AT のコンピテンシーに応じた業務と運営 3) JSPO-AT の活動と倫理および運営管理 4) JSPO-AT の安全と健康管理、セルフマネジメント 5) スポーツ医・科学チームとスタッフ 6) エビデンスに基づいた運営(EBP) 7) 関係者・対象者とのコミュニケーション	JSPO-AT の役割	2	1年前期
	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 1) スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 2) スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 3) 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 4) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSPO-AT の役割 5) 健康管理 6) スポーツ外傷・障害の予防 7) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用 8) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応	AT 総合演習Ⅰ AT 総合演習Ⅱ	2 4	2年前期 3年前期

専 門 科 目	コンディショニング 1) JSPO-AT の役割としてのコンディショニング 2) コンディショニングのプログラムデザイン 3) 競技特性の分析 4) トレーニング各論 5) コンディショニングに関するそのほかの情報	コンディショニングⅠ コンディショニングⅡ	4 2	1年後期 3年前期
	リコンディショニング 1) リコンディショニング総論 2) リコンディショニングで用いる代表的な手法 3) リコンディショニングにおける評価とプログラミング 4) リコンディショニングに必要な組織修復、治癒過程の知識 5) 機能的、身体的な状態に応じたリコンディショニング 6) 部位ごとの状態に応じたリコンディショニング 7) スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング	リコンディショニングⅠ リコンディショニングⅡ	4 2	2年後期 3年前期
	救急対応 1) スポーツ現場と救急対応 2) 救急対応の考え方 3) スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画 4) スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順 5) 外傷時の救急対応 6) 内科的疾患に対する救急対応 7) 各競技における救急体制の実際	AT 救急対応 AT 救急対応（実践）	2 2	2年後期 3年前期
	検査・測定と評価 1) JSPO-AT の行う検査・測定・評価とは 2) JSPO-AT の行う検査・測定・評価の実際	検査・測定と評価（実習含む）	2	2年後期
	人体の解剖と機能 1) 上肢・体幹 2) 骨盤・下肢	解剖学Ⅰ	2	1年前期
		解剖学Ⅱ	2	1年後期
		運動学Ⅰ	1	2年前期
		運動学Ⅱ	1	2年後期
	スポーツ科学 1) 運動生理学 2) バイオメカニクス 3) 体力・運動能力向上と外傷・障害予防に必要なスポーツ科学の応用知識 4) スポーツ科学の基礎知識の体力・運動能力向上と外傷・障害への活用	スポーツ科学	2	1年前期
		バイオメカニクス	2	2年後期
ヒトの運動と呼吸の生理		2	2年前期	
運動学Ⅰ		1	2年前期	
運動学Ⅱ		1	2年後期	
スポーツ医学 1) 上肢・体幹・下肢の代表的なスポーツ外傷・障害 2) スポーツ現場で起こりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病 3) スポーツ活動と関連する代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血液疾患等 4) スポーツ現場で起こりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病 5) 対象別（女性、高齢者、発育期、パラアスリート）によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項	スポーツ医学概論 健康管理とスポーツ医学	2 2	2年後期 3年前期	
	見学実習	アスレティックトレーナー見学実習	1	1年前期
現 場 実 習	スポーツ現場実習 （ストレッチング、テーピング、応急措置等）	アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1	1年後期
	検査・測定と評価実習、 アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	1	2年前期
	アスレティックリハビリテーション実習 （プログラム作成、実施等）	アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	1	2年後期
	総合実習	アスレティックトレーナー総合実習	2	3年後期

2 トレーニング指導者課程

◇トレーニング指導者（以下、ATIという。）とは

特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（以下、JATIという。）が認定する資格の一つで、トレーニング指導の対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得したと認められた者に授与されます。スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導の専門家として活動するための基礎資格として位置づけられています。

本学は、JATIの養成校として平成24年4月から、医療科学部東京柔道整復学科、平成26年4月から医療科学部柔道整復学科ならびに令和7年4月から理学療法学科、作業療法学科にトレーニング指導者課程（以下、ATI課程）を開設しました。

ATI資格取得者は、競技スポーツ分野（プロや社会人チームのトレーニングコーチ、高校や大学の運動部のトレーニング指導者、アスリートを対象としたトレーニングの個人指導を行うパーソナルトレーナーなど）や健康増進分野（民間及び公共運動施設（フィットネスクラブや市町村体育館など）の運動指導者や一般人を対象としたパーソナルトレーナーなど）などで活躍しています。

◇履修登録及びトレーニング指導者課程履修費

ATI課程の履修を希望する柔道整復学科1年次生は、ATI課程ガイダンスに必ず出席すること。このガイダンスに出席しない者は、履修登録を受け付けません。

ATI課程履修費として20,000円が必要となります。

徴収したATI課程履修費は、いかなる理由があっても返還しません。

◇ATIの資格取得及び履修科目（帝京科学大学履修規則別記6より抜粋）

次の授業科目を履修し、必要な単位数を取得すれば、ATI認定試験の受験資格を得ることができます。

ATI認定試験に合格し、JATIの会員登録手続きをすることにより、ATIとして認定されます。

（トレーニング指導者養成のための課程の履修）

履修規則第25条に基づく、ATI課程の履修は、次表のとおりとする。

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラムの各科目名に対応する本学開講科目をすべて履修すること。ただし、対応する本学開講科目名が複数ある場合は、いずれか1科目以上を修得すること。ただし、（ ）カッコで囲まれた科目は、複数科目の履修を必須とする。

柔道整復学科

1 一般科目

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラム		対応する本学開講科目名
領域	科目名	
A. 体カトレーニング総論	体カトレーニング総論	スポーツトレーナー入門
B. 機能解剖	機能解剖Ⅰ(1) 上肢	3科目全て(解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、運動学Ⅰ)
	機能解剖Ⅰ(2) 脊柱と胸郭	
	機能解剖Ⅰ(3) 骨盤と下肢	
C. バイオメカニクス	バイオメカニクス(1) 基礎理論	バイオメカニクス
	バイオメカニクス(2) スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス	

D. 運動生理学	運動生理学(1)呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動	ヒトの運動と呼吸の生理
	運動生理学(2)骨格筋系・神経系・内分泌系と運動	2科目全て(ヒトの運動と呼吸の生理、運動学Ⅰ)
E. 運動と栄養	運動と栄養(1)運動と栄養の基礎理論	スポーツと食事
	運動と栄養(2)対象と目的に応じた栄養摂取	
F. 運動と心理	運動と心理(1)運動と心理の基礎理論	スポーツ心理学基礎
	運動と心理(2)運動学習と指導法	
G. 運動と医学	運動と医学(1)生活習慣病	一般臨床医学Ⅰ
	運動と医学(2)スポーツ傷害	整形外科学基礎
	運動と医学(3)救命救急法	救急医療

2 専門科目

A. トレーニング指導者論	トレーニング指導者の役割	スポーツトレーナー入門
	トレーニング指導者の実務	2科目全て(コーチング論Ⅰ、スポーツトレーナー入門)
B. 測定と評価	トレーニング効果の測定と評価	検査・測定と評価(実習含む)
	測定データの分析とデータの活用法	
C. トレーニング理論とプログラム	長期的トレーニング計画	コンディショニングⅠ
	レジスタンストレーニング	
	パワートレーニング	
	持久カトレーニング	
	スピードトレーニング	
	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップ、クールダウン、リカバリー	2科目全て(コンディショニングⅠ、コンディショニングⅡ)
	特別な対象のためのトレーニングとプログラム	
生活習慣病、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム		
D. トレーニングの実技と指導法 ※実習を伴う内容であることが必要	レジスタンストレーニングの実技と指導法	コンディショニングⅠ
	パワートレーニングの実技と指導法	
	持久カトレーニングの実技と指導法	
	スピードトレーニングの実技と指導法	
	ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法	

注記 帝京科学大学履修規程別表(柔道整復学科)の授業科目: スポーツトレーナー入門、解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、運動学Ⅰ、ヒトの運動と呼吸の生理、一般臨床医学Ⅰ、整形外科学基礎、救急医療

共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
共通科目（基礎分野）	人間	倫理学B	2	◎		2									共通科目(基礎分野)は、必修科目10単位を含めて18単位以上修得すること。
		心理学A	2		2										
		心理学B	2			2									
		哲学A	2		2										
		哲学B	2			2									
	社会	歴史学A	2		2										
		歴史学B	2			2									
		法学	2		2										
		日本国憲法	2			2									
		経済学	2		2										
		社会学	2			2									
	文化	文学A	2		2										
		文学B	2			2									
		文化史A	2		2										
	自然	数学 I	2		2										
		物理学 I	2		2										
		化学 I	2		2										
		生物学 I	2		2										
	語学	英語 I	1		2										
		英語 II	1			2									
		教養英語A	1		2										
		教養英語B	1			2									
	保健体育	健康体育A	1		2										
		健康体育B	1			2									
		健康と生活	2		2										
	イデ エン タ ス サ	情報 I	1	◎	2										
		情報 II	1	◎		2									
		統計学	2			2									
	キャ リア ア	キャリアデザイン I	2			2									
		実践日本語会話	2				2								
時事問題解説		2				2									
ゼミ	基礎ゼミ I	2	◎	2											
	基礎ゼミ II	1	◎			1									
	基礎ゼミ III	1	◎				1								
	基礎ゼミ IV	1	◎					1							
	基礎ゼミ V	1	◎						1						
	計	60		34	28	3	1	1	1	0	0				

専門基礎科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門基礎科目（専門基礎分野）	人体の理解														※専門基礎科目・専門科目は、必修科目106単位以上を修得すること。
	身体構造学Ⅰ	2	◎	2											
	身体構造学Ⅱ	2	◎		2										
	身体構造学実習	1	◎		3										
	身体機能学Ⅰ	2	◎	2											
	身体機能学Ⅱ	2	◎		2										
	身体機能学実習	1	◎			3									
	運動学Ⅰ	2	◎	2											
	運動学Ⅱ	2	◎		2										
	運動生理学	2		2											
	運動学実習	1	◎			3									
	人間発達学	2	◎	2											
	疾病・障害の理解														
	病理学	1	◎			1									
	病態運動学	1				1									
	内科学	2	◎			2									
	臨床心理学	1	◎		1										
	薬理学概論	1	◎				1								
	整形外科学	2	◎			2									
	神経内科学	2	◎			2									
	精神医学	1	◎		1										
	小児科学	1	◎			1									
	スポーツ医学	2						2							
	リハビリテーション医学	1	◎		1										
	公衆衛生学	1	◎				1								
	社会とリハビリテーションの理解														
	リハビリテーション概論	1	◎	1											
	地域包括ケアシステム論	2	◎					2							
	チーム医療実践論	1	◎				1								
	学際的領域														
	教育学	2							2						
	動物リハビリテーション	2								2					
	バイオメカニクス	1									1				
栄養学	1										1				
救急医療学	1		1												
臨床検査学概論	1					1									
小計		47		12	12	15	4	4	6	0	0				

専門科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目（専門分野）	基礎理学療法学	1	◎	1										※専門基礎科目・専門科目は、必修科目106単位以上を修得すること。
	基礎理学療法学	2	◎	2										
	医療統計学	1			1									
	理学療法研究法	1	◎			1								
	理学療法教育・管理学	2	◎					2						
	理学療法評価学	2	◎					2						
	画像評価法	1	◎						1					
	理学療法評価学	2	◎		2									
	理学療法評価学実習Ⅰ	1	◎			3								
	理学療法評価学実習Ⅱ	1	◎				3							
	運動療法学総論	2	◎			2								
	運動療法学実習	1	◎				3							
	物理療法学・実習	1	◎					3						
	補装具学	2	◎						2					
	補装具学演習	2	◎							2				
	日常生活活動学	2	◎		2									
	日常生活活動学実習	1	◎				3							
	スポーツ障害理学療法学	1								1				
	運動器障害理学療法学Ⅰ	2	◎				2							
	運動器障害理学療法学Ⅱ	2	◎					2						
	神経障害理学療法学Ⅰ	2	◎				2							
	神経障害理学療法学Ⅱ	2	◎					2						
	内部障害理学療法Ⅰ	2	◎					2						
	内部障害理学療法Ⅱ	2	◎						2					
	高齢者理学療法学	1								1				
	小児理学療法学	2	◎							2				
	プロフェッショナルスキルⅠ	1	◎						2					
	プロフェッショナルスキルⅡ	1	◎							3				
	プロフェッショナルスキルⅢ	1	◎								3			
	クリニカルリーズニング	1										1		
	地域理学療法学	2	◎						2					
	生活環境学	1	◎							1				
	障害予防特論	1	◎								1			
	国際医療活動	1							1					
	応用理学療法学	1								1				
	ウィメンズヘルス	1											1	
	マニュアルセラピー	1											1	
	臨床実習Ⅰ	1	◎	3										
	臨床実習Ⅱ	1	◎			3								
	臨床実習Ⅲ	6	◎						18					
臨床実習Ⅳ	12	◎							36					
臨床実習Ⅴ	1	◎									3			
その他	理学療法ゼミ	4	◎							6	6			
	卒業研究	2	◎							3	3			
	小計	79		6	4	6	19	21	33	45	14			
	計	126		18	16	21	23	25	39	45	14			

※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上

資格等について

アスレティックトレーナー課程

◇アスレティックトレーナーとは

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（以下、公認ATという。）は、日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者の一つ（メディカル・コンディショニング資格）であり、唯一のアスレティックトレーナー資格として公認されたものです。

本学は、日本スポーツ協会の承認校として平成23年4月から、医療科学部東京柔道整復学科及び令和元年4月から医療科学部柔道整復学科と東京理学療法学科、令和7年4月から医療科学部理学療法学科と作業療法学科にアスレティックトレーナー課程（以下、AT課程という。）を開設しました。

AT課程の目的は、機能解剖や運動学に関する専門的な知識を有し、スポーツ活動現場において、競技者の外傷・障害予防、救急対応、コンディショニングにあたるとともに、スポーツ外傷・障害を受けた競技者の競技復帰までのリコンディショニングができる技能を持つ指導者を養成することです。

公認ATの役割は、スポーツドクター及びコーチと緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、スポーツ活動中の外傷・障害予防、救急対応、リコンディショニング及び体カトレニング、コンディショニング等を統合的な視点を持ってサポートすることにあります。

詳しくは、AT課程専門科目「JSPO-ATの役割」の授業で説明します。

◇履修登録及びAT課程履修費

AT課程の履修を希望する東京理学療法学科の1年次生は、AT課程ガイダンスに必ず出席してください。このガイダンスに出席しない者は、履修登録を受け付けません。

AT課程履修費として40,000円が必要となります。

また、別途、現場実習費を徴収する場合があります。徴収したAT課程履修費、現場実習費は、いかなる理由があっても返還しません。

◇AT課程の現場実習

現場実習は、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会講習・試験免除適応コースアスレティックトレーナーコース現場実習計画書」に基づき実施されます。

現場実習についての説明は、AT課程ガイダンスで行います。

◇公認ATの資格取得及び履修科目（帝京科学大学履修規則別記5より抜粋）

次の授業科目を履修し、必要な単位数を取得すれば、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目講習・試験免除適応コース検定試験の受験資格を得ることができます。

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目講習・試験免除適応コース検定試験（実技試験、理論試験）に合格し、日本スポーツ協会に登録手続をすることにより、「公認AT」として認定されます。

(アスレティックトレーナー養成のための課程の履修)

履修規則第24条に基づく、アスレティックトレーナー課程の履修は次表のとおりとする。
以下の科目は、すべて修得すること。

東京理学療法学科

日本スポーツ協会指定科目		本学開講科目名		履修年次
科目内容		授業科目	単位	
共通科目	コーチングを理解しよう 1.コーチングとは 2.コーチに求められる役割 3.コーチに求められる知識とスキル 4.対他者力を磨こう 5.対自己力を磨こう 6.スポーツの意義と価値 7.スポーツの価値を守るスポーツ権 8.スポーツの自治-ガバナンスとコンプライアンス- 9.暴力・ハラスメントの根絶 10.スポーツのインテグリティ 11.スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 12.スポーツ仲裁 13.スポーツ倫理 14.時代をリードするコーチング	コーチング論Ⅰ 体育・スポーツ経営学	2 2	1年後期 1年後期
	グッドコーチに求められる医・科学的知識 1.スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系 2.体力のトレーニング 3.スキルトレーニング 4.心のトレーニング 5.スポーツと栄養 6.スポーツに関連する医学的知識 7.アンチ・ドーピング	運動生理学 身体機能学実習 運動学Ⅱ スポーツ心理学基礎 スポーツと食事 スポーツ医学 スポーツトレーニング入門	2 1 2 2 2 2 2	1年前期 2年前期 1年後期 2年前期 2年後期 3年前期 1年前期
	現場・環境に応じたコーチング 1.コーチング環境の特徴 2.ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング 3.スポーツ組織のマネジメント 4.障がい者とスポーツ	コーチング論Ⅱ	2	2年前期
専門科目	JSPO-AT の役割 1) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは 2) JSPO-AT のコンピテンシーに応じた業務と運営 3) JSPO-AT の活動と倫理および運営管理 4) JSPO-AT の安全と健康管理、セルフマネージメント 5) スポーツ医・科学チームとスタッフ 6) エビデンスに基づいた運営(EBP) 7) 関係者・対象者とのコミュニケーション	JSPO-AT の役割	2	1年前期
	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 1) スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 2) スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 3) 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 4) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSPO-AT の役割 5) 健康管理 6) スポーツ外傷・障害の予防 7) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用 8) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応	AT 総合演習Ⅰ AT 総合演習Ⅱ	2 4	3年前期 3年後期

	コンディショニング 1) JSPO-AT の役割としてのコンディショニング 2) コンディショニングのプログラムデザイン 3) 競技特性の分析 4) トレーニング各論 5) コンディショニングに関するそのほかの情報	コンディショニングⅠ コンディショニングⅡ トレーニング科学演習	4 2 1	1年前期 2年後期 1年後期
	リコンディショニング 1) リコンディショニング総論 2) リコンディショニングで用いる代表的な手法 3) リコンディショニングにおける評価とプログラミング 4) リコンディショニングに必要な組織修復、治癒過程の知識 5) 機能的、身体的な状態に応じたリコンディショニング 6) 部位ごとの状態に応じたリコンディショニング 7) スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング	リコンディショニングⅠ リコンディショニングⅡ	4 2	2年前期 3年前期
	救急対応 1) スポーツ現場と救急対応 2) 救急対応の考え方 3) スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画 4) スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順 5) 外傷時の救急対応 6) 内科的疾患に対する救急対応 7) 各競技における救急体制の実際	救急医療 救急医療（実践）	2 2	2年後期 3年後期
	検査・測定と評価 1) JSPO-AT の行う検査・測定・評価とは 2) JSPO-AT の行う検査・測定・評価の実際	検査・測定と評価（実習含む）	2	3年前期
	人体の解剖と機能 1) 上肢・体幹 2) 骨盤・下肢	身体構造学Ⅰ 身体構造学Ⅱ 解剖学Ⅲ 解剖学Ⅳ	2 2 2 2	1年前期 1年後期 2年前期 2年後期
	スポーツ科学 1) 運動生理学 2) バイオメカニクス 3) 体力・運動能力向上と外傷・障害予防に必要なスポーツ科学の応用知識 4) スポーツ科学の基礎知識の体力・運動能力向上と外傷・障害への活用	スポーツトレーニング入門 バイオメカニクス 身体機能学実習	2 2 1	1年前期 3年前期 2年前期
	スポーツ医学 1) 上肢・体幹・下肢の代表的なスポーツ外傷・障害 2) スポーツ現場で起こりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病 3) スポーツ活動と関連する代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血液疾患等 4) スポーツ現場で起こりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病 5) 対象別（女性、高齢者、発育期、パラアスリート）によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項	整形外科学 健康管理とスポーツ医学	2 2	2年前期 3年後期
現場実習	見学実習	アスレティックトレーナー見学実習	1	1年前期
	スポーツ現場実習 （ストレッチング、テーピング、応急措置等）	アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1	1年後期
	検査・測定と評価実習、 アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	1	2年前期
	アスレティックリハビリテーション実習 （プログラム作成、実施等）	アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	1	2年後期
	総合実習	アスレティックトレーナー総合実習	2	3年通年

共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目（基礎分野）	人間	倫理学A	2		2									※共通科目は必修科目14単位を含めて14単位以上修得すること。
		倫理学B	2	◎	2									
		心理学A	2		2									
		心理学B	2		2									
		哲学A	2		2									
		哲学B	2		2									
	社会	歴史学A	2		2									
		歴史学B	2		2									
		法学	2		2									
		日本国憲法	2		2									
		経済学	2		2									
		社会学	2		2									
	文化	文学A	2		2									
		文学B	2		2									
		文化史A	2		2									
	自然	数学Ⅰ	2		2									
		物理学	2		2									
		化学Ⅰ	2		2									
		生物学	2		2									
	語学	英語	1	◎	2									
		英語Ⅱ	1	◎	2									
		中国語	1		2									
		韓国語	1		2									
	保健体育	健康体育A	1		2									
		健康体育B	1		2									
		健康と生活	2		2									
	イデ エー ンタ スサ	情報	1	◎	2									
		情報Ⅱ	1	◎	2									
		統計学	2		2									
	キャリア	キャリアデザインⅠ	2		2									
		実践日本語会話	2		2									
	ゼミ	アドバンスセミナーⅠ	2	◎	2	2								
		アドバンスセミナーⅡ	2	◎		2	2							
アドバンスセミナーⅢ		2	◎				2	2						
アドバンスセミナーⅣ		2	◎						2	2				
計		62		38	28	2	2	2	2	2	2	2		

専門基礎科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門基礎科目(専門基礎分野)	人体の理解	解剖学Ⅰ	2	◎	2										※専門科目(専門基礎科目・専門科目)は必修科目102単位以上修得すること。
		解剖学Ⅱ	2	◎		2									
		解剖学Ⅲ	2	◎			2								
		解剖学Ⅳ	2	◎				2							
		生理学Ⅰ	2	◎	2										
		生理学Ⅱ	2	◎		2									
		生理学Ⅲ	2	◎			2								
		生理学Ⅳ	2	◎				2							
		運動学と行動	2	◎			2								
	疾病・傷害の理解	外科学	2	◎				2							
		臨床心理学	2			2									
		スポーツ医学概論	2						2						
		社会保障制度	1	◎						1					
		衛生学	2	◎						2					
		公衆衛生学	2	◎							2				
		薬の知識	2					2							
		整形外科Ⅰ	2	◎				2							
		整形外科Ⅱ	2	◎					2						
		リハビリテーションⅠ	2	◎				2							
		リハビリテーションⅡ	2	◎						2					
		疾病の科学(病理各論・総論)	2	◎							2				
	実践活用	一般臨床医学Ⅰ	2	◎			2								
		一般臨床医学Ⅱ	2	◎				2							
		医学史	2		2										
		統合医療概論	2							2					
		介護概論	2			2									
		スポーツトレーニング入門	2		2										
		柔道実技Ⅰ	1	◎		2									
		柔道実技Ⅱ	1	◎			2								
職業倫理及び関係法規		2	◎						2						
柔道整復術の適応		2	◎							2					
画像診断学		1									1				
救急医療		2						2							
地域保健スポーツ医療概論と演習		2						2							
アロマセラピーⅠ		2				2									
アロマセラピーⅡ		2					2								
後療法		2					2								
小計	70			8	10	14	20	15	4	1	0				

専門科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目(専門分野)	基礎整復学Ⅰ	2	◎	2										※専門科目(専門基礎科目・専門科目)は必修科目102単位以上修得すること。
	基礎整復学Ⅱ	2	◎	2										
	基礎整復学Ⅲ	2	◎		2									
	基礎整復学Ⅳ	2	◎		2									
	基礎整復学Ⅴ	2	◎			2								
	基礎整復学Ⅵ	2	◎						2					
	臨床整復学Ⅰ	1	◎		2									
	臨床整復学Ⅱ	1	◎			2								
	臨床整復学Ⅲ	1	◎				2							
	臨床整復学Ⅳ	1	◎			2								
	臨床整復学Ⅴ	1	◎			2								
	臨床整復学Ⅵ	2	◎				2							
	臨床整復学Ⅶ	2	◎					2						
	臨床整復学Ⅷ	2	◎								2			
	応用整復学Ⅰ	1	◎					2						
	応用整復学Ⅱ	1	◎						2					
	応用整復学Ⅲ	1	◎							2				
	応用整復学Ⅳ	1	◎								2			
	応用整復学Ⅴ	1	◎									2		
	応用整復学Ⅵ	1	◎										2	
	基礎整復学演習Ⅰ	1				2								
	基礎整復学演習Ⅱ	1					2							
	基礎整復学演習Ⅲ	1						2						
	基礎整復学演習Ⅳ	1							2					
	柔道整復学実習Ⅰ	2	◎	4										
	柔道整復学実習Ⅱ	2	◎							4				
	臨床整復学実習Ⅰ	2	◎			4								
	臨床整復学実習Ⅱ	2	◎				4							
	臨床整復学実習Ⅲ	2	◎					4						
	臨床整復学実習Ⅳ	2	◎				4							
	臨床整復学実習Ⅴ	2	◎						4					
	臨床整復学実習Ⅵ	2	◎							4				
	臨床整復学実習Ⅶ	2	◎								4			
臨床整復学実習Ⅷ	2	◎									4			
柔道整復研究法	2								2					
応用柔道整復学演習Ⅰ	1	◎										2		
応用柔道整復学演習Ⅱ	1	◎										2		
総合柔道整復学演習Ⅰ	1	◎								1	1			
総合柔道整復学演習Ⅱ	1	◎								1	1			
臨床実習Ⅰ	3	◎		集中講義										
臨床実習Ⅱ	1	◎									集中講義			
卒業研究法	4									4	4			
小計	67			8	6	14	14	16	22	16	10			
計	137			16	16	28	34	31	26	17	10			

※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上。

資格等について

1 アスレティックトレーナー課程

◇アスレティックトレーナーとは

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（以下、公認ATという。）は、日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者の一つ（メディカル・コンディショニング資格）であり、唯一のアスレティックトレーナー資格として公認されたものです。

本学は、日本スポーツ協会の承認校として平成23年4月から、医療科学部東京柔道整復学科及び令和元年4月から医療科学部柔道整復学科と東京理学療法学科、令和7年4月から医療科学部理学療法学科と作業療法学科にアスレティックトレーナー課程（以下、AT課程という。）を開設しました。

AT課程の目的は、機能解剖や運動学に関する専門的な知識を有し、スポーツ活動現場において、競技者の外傷・障害予防、救急対応、コンディショニングにあたるとともに、スポーツ外傷・障害を受けた競技者の競技復帰までのリコンディショニングができる技能を持つ指導者を養成することです。

公認ATの役割は、スポーツドクター及びコーチと緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、スポーツ活動中の外傷・障害予防、救急対応、リコンディショニング及び体カトレニング、コンディショニング等を統合的な視点を持ってサポートすることにあります。

詳しくは、AT課程専門科目「JSPO-ATの役割」の授業で説明します。

◇履修登録及びAT課程履修費

AT課程の履修を希望する東京柔道整復学科の1年次生は、AT課程ガイダンスに必ず出席してください。このガイダンスに出席しない者は、履修登録を受け付けません。

AT課程履修費として40,000円が必要となります。

また、別途、現場実習費を徴収する場合があります。徴収したAT課程履修費、現場実習費は、いかなる理由があっても返還しません。

◇AT課程の現場実習

現場実習は、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会講習・試験免除適応コースアスレティックトレーナーコース現場実習計画書」に基づき実施されます。

現場実習についての説明は、AT課程ガイダンスで行います。

◇公認ATの資格取得及び履修科目（帝京科学大学履修規則別記5より抜粋）

次の授業科目を履修し、必要な単位数を取得すれば、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目講習・試験免除適応コース検定試験の受験資格を得ることができます。

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目講習・試験免除適応コース検定試験（実技試験、理論試験）に合格し、日本スポーツ協会に登録手続をすることにより、「公認AT」として認定されます。

(アスレティックトレーナー養成のための課程の履修)

履修規則第24条に基づく、アスレティックトレーナー課程の履修は次表のとおりとする。
以下の科目は、すべて修得すること。

東京柔道整復学科

日本スポーツ協会指定科目		本学開講科目名		履修年次
科目内容	授業科目	単位		
共通科目	コーチングを理解しよう 1.コーチングとは 2.コーチに求められる役割 3.コーチに求められる知識とスキル 4.対他者力を磨こう 5.対自己力を磨こう 6.スポーツの意義と価値 7.スポーツの価値を守るスポーツ権 8.スポーツの自治-ガバナンスとコンプライアンス- 9.暴力・ハラスメントの根絶 10.スポーツのインテグリティ 11.スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 12.スポーツ仲裁 13.スポーツ倫理 14.時代をリードするコーチング	コーチング論Ⅰ 体育・スポーツ経営学	2 2	1年後期 1年後期
	グッドコーチに求められる医・科学的知識 1.スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系 2.体力のトレーニング 3.スキルトレーニング 4.心のトレーニング 5.スポーツと栄養 6.スポーツに関連する医学的知識 7.アンチ・ドーピング	スポーツトレーニング入門 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学Ⅳ 運動学と行動 スポーツ心理学基礎 スポーツと食事 スポーツ医学概論	2 2 2 2 2 2 2 2 2	1年前期 1年前期 1年後期 2年前期 2年後期 2年前期 2年前期 2年後期 3年前期
	現場・環境に応じたコーチング 1.コーチング環境の特徴 2.ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング 3.スポーツ組織のマネジメント 4.障がい者とスポーツ	コーチング論Ⅱ	2	2年前期
専門科目	JSPO-ATの役割 1) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは 2) JSPO-ATのコンピテンシーに応じた業務と運営 3) JSPO-ATの活動と倫理および運営管理 4) JSPO-ATの安全と健康管理、セルフマネージメント 5) スポーツ医・科学チームとスタッフ 6) エビデンスに基づいた運営(EBP) 7) 関係者・対象者とのコミュニケーション	JSPO-ATの役割	2	1年前期
	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 1) スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 2) スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 3) 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 4) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSPO-ATの役割 5) 健康管理 6) スポーツ外傷・障害の予防 7) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用 8) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応	AT 総合演習Ⅰ AT 総合演習Ⅱ	2 4	3年前期 3年後期

	コンディショニング 1) JSPO-AT の役割としてのコンディショニング 2) コンディショニングのプログラムデザイン 3) 競技特性の分析 4) トレーニング各論 5) コンディショニングに関するそのほかの情報	コンディショニングⅠ コンディショニングⅡ トレーニング科学演習	4 2 1	1年前期 2年後期 1年後期
	リコンディショニング 1) リコンディショニング総論 2) リコンディショニングで用いる代表的な手法 3) リコンディショニングにおける評価とプログラミング 4) リコンディショニングに必要な組織修復、治癒過程の知識 5) 機能的、身体的な状態に応じたリコンディショニング 6) 部位ごとの状態に応じたリコンディショニング 7) スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング	リコンディショニングⅠ リコンディショニングⅡ	4 2	2年前期 3年前期
	救急対応 1) スポーツ現場と救急対応 2) 救急対応の考え方 3) スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画 4) スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順 5) 外傷時の救急対応 6) 内科的疾患に対する救急対応 7) 各競技における救急体制の実際	救急医療 救急医療（実践）	2 2	2年後期 3年後期
	検査・測定と評価 1) JSPO-AT の行う検査・測定・評価とは 2) JSPO-AT の行う検査・測定・評価の実際	検査・測定と評価（実習含む）	2	3年前期
	人体の解剖と機能 1) 上肢・体幹 2) 骨盤・下肢	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅲ 解剖学Ⅳ	2 2 2 2	1年前期 1年後期 2年前期 2年後期
	スポーツ科学 1) 運動生理学 2) バイオメカニクス 3) 体力・運動能力向上と外傷・障害予防に必要なスポーツ科学の応用知識 4) スポーツ科学の基礎知識の体力・運動能力向上と外傷・障害への活用	スポーツトレーニング入門 バイオメカニクス 運動学と行動 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学Ⅳ	2 2 2 2 2 2 2	1年前期 3年前期 2年前期 1年前期 1年後期 2年前期 2年後期
	スポーツ医学 1) 上肢・体幹・下肢の代表的なスポーツ外傷・障害 2) スポーツ現場で起こりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病 3) スポーツ活動と関連する代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血液疾患等 4) スポーツ現場で起こりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病 5) 対象別（女性、高齢者、発育期、パラアスリート）によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項	スポーツ医学概論 健康管理とスポーツ医学	2 2	3年前期 3年後期
現場実習	見学実習	アスレティックトレーナー見学実習	1	1年前期
	スポーツ現場実習 （ストレッチング、テーピング、応急措置等）	アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1	1年後期
	検査・測定と評価実習、 アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	1	2年前期
	アスレティックリハビリテーション実習 （プログラム作成、実施等）	アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	1	2年後期
	総合実習	アスレティックトレーナー総合実習	2	3年通年

2 トレーニング指導者課程

◇トレーニング指導者（以下、ATIという。）とは

特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（以下、JATIという。）が認定する資格の一つで、トレーニング指導の対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得したと認められた者に授与されます。スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導の専門家として活動するための基礎資格として位置づけられています。

本学は、JATIの養成校として平成24年4月から、医療科学部東京柔道整復学科及び平成26年4月から医療科学部柔道整復学科ならびに令和7年4月から理学療法学科、作業療法学科にトレーニング指導者課程（以下、ATI課程）を開設しました。

ATI資格取得者は、競技スポーツ分野（プロや社会人チームのトレーニングコーチ、高校や大学の運動部のトレーニング指導者、アスリートを対象としたトレーニングの個人指導を行うパーソナルトレーナーなど）や健康増進分野（民間及び公共運動施設（フィットネスクラブや市町村体育館など）の運動指導者や一般人を対象としたパーソナルトレーナーなど）などで活躍しています。

◇履修登録及びトレーニング指導者課程履修費

ATI課程の履修を希望する1年次生は、ATI課程ガイダンスに必ず出席すること。このガイダンスに出席しない者は、履修登録を受け付けません。

ATI課程履修費として20,000円が必要となります。

徴収したATI課程履修費は、いかなる理由があっても返還しません。

◇ATIの資格取得及び履修科目（帝京科学大学履修規則別記6より抜粋）

次の授業科目を履修し、必要な単位数を取得すれば、ATI認定試験の受験資格を得ることができます。

ATI認定試験に合格し、JATIの会員登録手続きをすることにより、ATIとして認定されます。

（トレーニング指導者養成のための課程の履修）

履修規則第25条に基づく、ATI課程の履修は、次表のとおりとする。

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラムの各科目名に対応する本学開講科目をすべて履修すること。ただし、対応する本学開講科目名が複数ある場合は、いずれか1科目以上を修得すること。ただし（ ）カッコで囲まれた科目は、複数科目の履修を必須とする。

東京柔道整復学科

1 一般科目

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラム		対応する本学開講科目名
領域	科目名	
A. 体カトレーニング総論	体カトレーニング総論	スポーツトレーニング入門
B. 機能解剖	機能解剖(1) 上肢	3科目全て（解剖学Ⅰ,解剖学Ⅱ,運動学と行動）
	機能解剖(2) 脊柱と胸郭	
	機能解剖(3) 骨盤と下肢	
C. バイオメカニクス	バイオメカニクス(1) 基礎理論	バイオメカニクス
	バイオメカニクス(2) スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス	

D. 運動生理学	運動生理学(1)呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動	2科目全て(生理学Ⅱ,生理学Ⅲ)
	運動生理学(2)骨格筋系・神経系・内分泌系と運動	2科目全て(生理学Ⅰ,生理学Ⅱ)
E. 運動と栄養	運動と栄養(1)運動と栄養の基礎理論	スポーツと食事
	運動と栄養(2)対象と目的に応じた栄養摂取	
F. 運動と心理	運動と心理(1)運動と心理の基礎理論	スポーツ心理学基礎
	運動と心理(2)運動学習と指導法	
G. 運動と医学	運動と医学(1)生活習慣病	2科目全て(一般臨床医学Ⅰ、一般臨床医学Ⅱ)
	運動と医学(2)スポーツ傷害	スポーツ医学概論
	運動と医学(3)救命救急法	救急医療、救急医療(実践)、基礎整復学Ⅴ

2 専門科目

A. トレーニング指導者論	トレーニング指導者の役割	コーチング論Ⅰ
	トレーニング指導者の実務	コンディショニングⅠ
B. 測定と評価	トレーニング効果の測定と評価	スポーツトレーニング入門
	測定データの分析とデータの活用	コンディショニングⅠ
C. トレーニング理論とプログラム	長期的トレーニング計画	スポーツトレーニング入門
	レジスタンストレーニング	コンディショニングⅠ
	パワートレーニング	
	持久カトレーニング	
	スピードトレーニング	
	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップ、クールダウン、リカバリー	
	特別な対象のためのトレーニングとプログラム	
	生活習慣病、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム	
D. トレーニングの実技と指導法 ※実習を伴う内容であることが必要	レジスタンストレーニングの実技と指導法	コンディショニングⅠ
	パワートレーニングの実技と指導法	
	持久カトレーニングの実技と指導法	
	スピードトレーニングの実技と指導法	
	ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法	

共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	配当年次	配当時期	単位数	1単位時間	必修	選択	備考	
共通科目（基礎分野）	人間	哲学A	1	前	2	15		○	保健師課程受講者必修 【看護師課程】 必修科目13単位を含めて20単位以上修得すること。 【保健師課程】 必修科目15単位を含めて20単位以上修得すること。
		哲学B	1	後	2	15		○	
		倫理学B	1	後	2	15	◎		
		心理学A	1	前	2	15	◎		
		科学史	1	後	2	15		○	
	社会	社会学	1	後	2	15		○	
		日本国憲法	1	後	2	15		○	
		文学A	1	前	2	15		○	
	文化	美術と対話	1	後	2	15		○	
		音楽と表現	1	後	2	15		○	
		生物学 I	1	前	2	15		○	
	自然	化学 I	1	前	2	15		○	
		数学 I	1	前	2	15		○	
		物理学 I	1	前	2	15		○	
	語学	英語 I	1	前	1	30	◎		
		英語 II	1	後	1	30	◎		
		教養英語A	1	前	1	30	◎		
		教養英語B	1	後	1	30		○	
		中国語 I	1	前	1	30		○	
		中国語 II	1	後	1	30		○	
		韓国語 I	1	前	1	30		○	
	保健体育	健康体育A	1	前	1	30		○	
		健康体育B	1	後	1	30		○	
		健康と生活	1	前	2	15		○	
	イデ エン タ ス サ	情報 I	1	前	1	30	◎		
		情報 II	1	後	1	30	◎		
		統計学	1	後	2	15	◎		
	キャ リア	教育学	1	前	2	15		○	
		教育方法	1	後	2	15		○	
		実践日本語会話法	1	後	2	15		○	
	ゼミ	基礎ゼミ	1	前	2	15	◎		
	計				52				

専門基礎科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	配当年次	配当時期	単位数	1単位時間	必修	選択	備考	
専門基礎科目（専門基礎分野）	生涯発達論	2	前	2	15	◎		【看護師課程】 専門基礎科目（専門基礎分野）は、必修科目25単位を含めて27単位以上修得すること。	
	解剖生理学Ⅰ（総論・消化器・呼吸器・循環器・泌尿器）	1	前	2	30	◎			
	解剖生理学Ⅱ（内分泌・運動器・神経・免疫・生殖）	1	後	2	30	◎			
	微生物と免疫	1	後	2	15	◎			
	栄養代謝学Ⅰ（生化学）	1	後	1	30	◎			【保健師課程】 専門基礎科目（専門基礎分野）は、必修25単位および保健師課程科目3単位を含めた合計28単位以上修得すること。
	栄養代謝学Ⅱ（栄養管理）	2	前	1	15	◎			
	病理学	1	前	1	30	◎			
	病態治療学Ⅰ（呼吸器・消化器・内分泌代謝）	1	後	1	30	◎			
	病態治療学Ⅱ（免疫・脳神経・運動器）	2	前	1	30	◎			
	病態治療学Ⅲ（循環器・血液・腎泌尿器）	2	前	1	30	◎			
	病態治療学Ⅳ（小児）	2	後	1	30	◎			
	病態治療学Ⅴ（精神）	3	前	1	15	◎			
	臨床薬理学	2	後	1	30	◎			
	臨床検査	2	前	1	15		○		
	健康と運動	2	前	1	15		○		
	地域コミュニティ論	2	前	2	15		○		
	保健医療福祉ボランティア論	2	前	1	15		○		
	社会福祉学	1	後	1	30	◎			
	公衆衛生学	1	後	2	15	◎			
	保健統計学	2	前	2	15	◎			
疫学	2	前	2	15		○	保健師課程受講者必修		
医療安全論	2	後	1	15	◎				
保健医療福祉行政論Ⅰ（行政の仕組み）	3	前	2	15	◎				
保健医療福祉行政論Ⅱ（保健計画立案）	4	後	1	15		○	保健師課程受講者必修		
小計				33					

専門科目(1) カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	配当年次	配当時期	単位数	1単位時間	必修	選択	備考
看護の基本	看護学概論	1	前	2	15	◎		【看護師課程】 専門科目(専門分野)は、必修科目71単位を含めて78単位以上修得すること。 【保健師課程】 専門科目(専門分野)は、必修71単位および保健師課程科目13単位を含めた合計84単位以上修得すること。
	看護理論	3	前	1	15	◎		
	基礎看護技術Ⅰ(共通基盤技術)	1	前	1	30	◎		
	基礎看護技術Ⅱ(日常生活援助技術)	1	後	1	30	◎		
	基礎看護技術Ⅲ(診療の補助技術)	2	前	2	30	◎		
	基礎看護技術Ⅳ(看護過程)	2	前	2	15	◎		
	ヘルスアセスメント	2	後	2	15	◎		
	成人看護学概論	1	後	1	15	◎		
	老年看護学概論	2	前	1	15	◎		
	小児看護学概論	2	前	1	15	◎		
	母性看護学概論	2	前	1	15	◎		
	精神看護学概論	2	前	1	15	◎		
	地域生活支援論	1	後	1	15	◎		
	公衆衛生看護学概論	1	後	1	15	◎		
	在宅看護学概論	2	前	1	15	◎		
看護援助の方法	看護倫理	3	前	1	15	◎		
	成人看護援助論Ⅰ-1(慢性期)	2	前	1	30	◎		
	成人看護援助論Ⅰ-2(慢性期看護過程)	2	後	1	15	◎		
	成人看護援助論Ⅱ-1(急性期・周術期)	2	前	1	30	◎		
	成人看護援助論Ⅱ-2(周術期看護過程)	3	前	1	15	◎		
	成人看護援助論Ⅲ(終末期)	3	前	1	15	◎		
	老年看護援助論Ⅰ(日常生活ケア)	2	後	1	15	◎		
	老年看護援助論Ⅱ-1(医療的ケア)	3	前	1	30	◎		
	老年看護援助論Ⅱ-2(看護過程)	3	前	1	15	◎		
	小児看護援助論Ⅰ(成長発達・日常生活ケア)	2	前	1	15	◎		
	小児看護援助論Ⅱ-1(病児・家族の看護)	2	後	1	15	◎		
	小児看護援助論Ⅱ-2(看護過程・技術)	3	前	1	15	◎		
	母性看護援助論Ⅰ(周産期の基礎)	2	後	2	15	◎		
	母性看護援助論Ⅱ(周産期の応用)	3	前	1	15	◎		
	精神看護援助論Ⅰ(ケアの方法論)	2	後	2	15	◎		
	精神看護援助論Ⅱ(ケアの技術・演習)	3	前	1	15	◎		
	公衆衛生看護方法論Ⅰ-1(成人・老年・産業)	2	前	1	15	◎		
	公衆衛生看護方法論Ⅰ-2(母子・精神・難病)	2	後	1	15	◎		
	公衆衛生看護方法論Ⅱ(保健指導・健康教育)	3	前	1	15		○	保健師課程受講者のみ
	公衆衛生看護方法論Ⅲ(地域診断、健康危機管理)	3	前	2	15		○	保健師課程受講者のみ
	公衆衛生看護学演習Ⅰ(地域のアクセス)	4	前	2	15		○	保健師課程受講者のみ
	公衆衛生看護学演習Ⅱ(健診と家庭訪問)	4	前	2	15		○	保健師課程受講者のみ
	在宅看護援助論Ⅰ(日常生活ケア)	2	後	1	15	◎		
在宅看護援助論Ⅱ(医療的ケア)	3	前	2	15	◎			
看護の実践	基礎看護学実習Ⅰ(対象の理解)	1	前	1	45	◎		
	基礎看護学実習Ⅱ(基盤：病院)	2	後	2	45	◎		
	成人看護学実習Ⅰ(慢性期・終末期)	3	後	2	45	◎		
	成人看護学実習Ⅱ(急性期・周術期)	3	後	2	45	◎		
	老年看護学実習Ⅰ(基盤：高齢者施設)	2	後	1	45	◎		
	老年看護学実習Ⅱ(病院・施設)	3	後	3	45	◎		
	小児看護学実習	3	後	2	45	◎		
	母性看護学実習	3	後	2	45	◎		
	精神看護学実習	3	後	2	45	◎		
	公衆衛生看護学実習	4	前	5	45		○	保健師課程受講者のみ
在宅看護学実習Ⅰ(基盤：地域包括支援センター)	2	後	1	45	◎			
在宅看護学実習Ⅱ(訪問看護ステーション)	3	後	2	45	◎			

専門科目（2） カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	配当年次	配当時期	単位数	1単位時間	必修	選択	備考		
専門科目（専門分野）	看護の発展	リハビリテーション看護論	3	前	1	15		○		
		がん看護論	4	前	1	15		○		
		家族看護論	2	後	1	15	◎			
		災害看護論	4	後	1	15		○		
		感染看護論	3	前	1	15		○		
		看護管理論	4	前	1	15		○		
		看護教育論	4	前	1	15		○		
		国際看護論	2	後	1	15		○		
		チーム医療実践論	2	後	1	15	◎			
		医療経済学	4	前	1	15		○		
		動物人間関係論	2	後	1	15		○		
		認知症ケア論	4	前	1	15		○		
		リプロヘルスケア論	2	前	1	15		○		
		症状別看護マネジメント論	2	後	1	15		○		
		看護セミナーⅠ(看護の統合・基礎)	4	前	1	30	◎			
		看護セミナーⅡ(看護の統合・応用)	4	後	1	30	◎			
		保健セミナー	4	後	1	30		○		保健師課程受講者のみ
		看護研究Ⅰ(研究方法論)	3	前	1	15	◎			※看護師課程の卒業に必要な修得単位数は、合計125単位以上 ※保健師課程の卒業に必要な修得単位数は、合計132単位以上
		看護研究Ⅱ(研究計画)	4	前	1	30	◎			
		看護研究Ⅲ(研究の実践)	4	後	2	30		○		
統合実習	4	前	3	45	◎					
	小計			98						
	計			131						

資格等について

保健師

◇保健師とは

保健師は、あらゆる年代と健康レベルの人々を対象に、健康づくりのサポートを行い、地域全体のQOL（生活の質）を向上させる、地域に根ざした専門職です。国家資格である保健師資格は看護師資格の取得が必要となります。

◇養護教諭二種

保健師国家試験合格後、養護教諭二種免許の申請ができます。その場合は、保健師履修科目に加えて、共通科目（基礎分野）の保健体育から2単位取得していなければなりません。

◇履修費用

保健師教育課程の選考に合格した者は、履修費として別途120,000円を徴収します。

(帝京科学大学履修規則別記 10)

履修規則第 29 条に基づく保健師国家試験受験資格を取得しようとする者の履修は、志願者の内から選抜された 20 名以内とし、次表のとおりとする。

保健師助産師看護師学校養成所指定規則 第二条第三項 別表一に定める科目		左記に対応する本学の開設授業科目の状況				
指定科目	単位数	授業科目の名称	単位数			
			必修	選択	計	
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	地域生活支援論	1		1	
		公衆衛生看護学概論	1		1	
	個人・家族・集団・組織の支援 公衆衛生看護活動展開論 公衆衛生看護管理論	14	公衆衛生看護方法論Ⅰ-1 (成人・老年・産業)	1		1
			公衆衛生看護方法論Ⅰ-2 (母子・精神・難病)	1		1
			公衆衛生看護方法論Ⅱ (保健指導、健康教育)	1	☆	1
			公衆衛生看護方法論Ⅲ (地域診断、健康危機管理)	2	☆	2
			公衆衛生看護学演習Ⅰ (地域の取り組み)	2	☆	2
			公衆衛生看護学演習Ⅱ (健診と家庭訪問)	2	☆	2
			在宅看護学概論	1		1
			チーム医療実践論	1		1
			保健セミナー	1	☆	1
			看護研究Ⅰ(研究方法論)	1		1
			看護研究Ⅱ(研究計画)	1		1
疫学	疫学	2	2	※	2	
保健統計学	保健統計学	2	公衆衛生学	2		2
			保健統計学	2		2
福祉行政論 保健医療	保健医療福祉行政論	3	日本国憲法	2	※	2
			保健医療福祉行政論Ⅰ (行政の仕組み)	2		2
			保健医療福祉行政論Ⅱ (保健計画立案)	1	☆	1
臨地実習	公衆衛生看護学実習 個人・家族・集団・組織の支援実習 公衆衛生看護活動展開論実習 公衆衛生看護管理論実習	5	公衆衛生看護学実習 保健所・保健センターにお ける実習 産業及び学校における実習	5	☆	5
総計		28		32		32

※は、選択科目であるが、保健師教育課程希望者は必修である。

☆は、保健師教育課程履修者のみの限定科目である。

履修方法

- 保健師教育課程履修者は、20名以内とする。
- 希望者は、帝京科学大学履修規則を参照し、必ず必要な科目を履修すること。
- 保健師国家試験受験資格希望者は、大学卒業の要件となる所定単位に加えて、保健師教育課程を履修する必要があり、看護師国家試験受験に必要な科目に加え、日本国憲法（2単位）、疫学（2単位）、公衆衛生看護方法論Ⅱ（保健指導、健康教育）（1単位）、公衆衛生看護方法論Ⅲ（地域診断、健康危機管理）（2単位）、公衆衛生看護学演習Ⅰ（地域のアセスメント）（2単位）、公衆衛生看護学演習Ⅱ（健診と家庭訪問）（2単位）、公衆衛生看護学実習（5単位）、保健医療福祉行政論Ⅱ（保健計画立案）（1単位）、保健セミナー（1単位）を修得することが要件となる。
- 保健師教育課程の選考は、2年次後期に実施する。
- 出願要件として、
 - 1) 共通科目
必修科目 15 単位、日本国憲法を含めて 20 単位以上単位修得済み
 - 2) 専門基礎科目
2 年次後期までの必修科目ならびに疫学を単位修得済み
 - 3) 専門科目
2 年次後期までの必修科目をすべて修得済み
 - 選考方法は、保健師の指定規則で定められた科目のうち、2年次終了時までまでに修得した科目（「日本国憲法」「公衆衛生学」「保健統計学」「疫学」「地域生活支援論」「公衆衛生看護学概論」「在宅看護学概論」「公衆衛生看護方法論Ⅰ-1（成人・老年・産業）」「公衆衛生看護方法論Ⅰ-2（母子・精神・難病）」「チーム医療実践論」）ならびに「在宅看護援助論Ⅰ（日常生活ケア）」「基礎看護学実習Ⅰ（対象の理解）」「基礎看護学実習Ⅱ（基盤：病院）」「老年看護学実習Ⅰ（基盤：高齢者施設）」「在宅看護学実習Ⅰ（基盤：地域包括支援センター）」の評価点、GPA、面接等によって総合的に選考する。

共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目	人間	倫理学B	2	◎		2								※共通科目は必修科目10単位を含めて10単位以上修得すること。
		心理学A	2		2									
		心理学B	2			2								
		哲学A	2		2									
		哲学B	2			2								
	社会	歴史学A	2		2									
		歴史学B	2			2								
		法学	2				2							
		日本国憲法	2			2								
		経済学	2		2									
	文化	社会学	2			2								
		文学A	2						2					
		文学B	2			2								
	自然	文化史A	2		2									
		数学I	2		2									
		物理学I	2		2									
		化学I	2		2									
	生物学I	生物学I	2		2									
		英語I	1	◎	2									
		英語II	1	◎		2								
		教養英語A	1		2									
	教養英語B	教養英語B	1			2								
		健康体育A	1		2									
	健康体育B	健康体育B	1			2								
		健康と生活	2		2									
	イデ エン タ ス サ	情報I	1	◎	2									
		情報II	1	◎		2								
		統計学	2			2								
	キャ リア ア	キャリアデザインI	2			2								
		キャリアデザインII	2				2							
実践日本語会話		2				2								
時事問題解説		2					2							
ゼ ミ	基礎ゼミI	2	◎	2										
	基礎ゼミII	2	◎		2									
計		60		30	30	6	0	2	0	0	0	0		

専門基礎科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門基礎科目	福祉専門演習	1	◎	2											※専門基礎科目・専門科目は必修科目 24単位を含めて24単位以上を修得すること。 ※多文化共生海外実習（*印）は夏季・ 春季の期間に実施する。
	危機管理と福祉	2							2						
	生活環境論	2		2											
	多文化共生と福祉Ⅰ	2	◎	2											
	多文化共生と福祉Ⅱ	2			2										
	多文化共生海外実習	1				*									
	心理学	2	◎	2											
	発達心理学	2		2											
	臨床心理学	2									2				
	リハビリテーション論	2				2									
	介護予防学	2			2										
	チーム医療福祉実践論	1	◎							1					
	日本の社会福祉史	2			2										
	医療管理	2		2											
	医療関係法規Ⅰ	2	◎		2										
	医療関係法規Ⅱ	2			2										
	医療情報概論	2	◎			2									
	医療情報各論	2				2									
	医療情報処理	2					2								
	医療情報セキュリティ	2					2								
	診療報酬概論Ⅰ	2						2							
	診療報酬概論Ⅱ	2							2						
	診療報酬概論Ⅲ	2								2					
	福祉科学セミナーⅠ	2	◎			2	2								
	福祉科学セミナーⅡ	2	◎					2	2						
	福祉科学セミナーⅢ	2	◎								2	2			
	実践活用	医療ソーシャルワーク実習指導	1									2			
		医療ソーシャルワーク実習	2									6			
		動物人間関係論	1								1				
		福祉ロボット	2								2				
		音楽と表現	2			2									
		手話	1			2									
		レクリエーション活動援助法	1				2								
アダプテッドスポーツ		2					2								
小計	61		8	16	10	10	6	10	12	2					

専門科目（1） カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備 考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門科目	医学概論	2	◎	2										※専門基礎科目・専門科目は必修科目 24単位を含めて24単位以上を修得すること。	
	社会福祉概論Ⅰ	2	◎	2											
	社会福祉概論Ⅱ	2	◎		2										
	社会福祉調査	2						2							
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2				2									
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2					2								
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2					2								
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2						2							
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2							2						
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	2								2					
	地域福祉論Ⅰ	2					2								
	地域福祉論Ⅱ	2							2						
	福祉サービスの組織と経営	2								2					
	社会保障論Ⅰ	2					2								
	社会保障論Ⅱ	2						2							
	高齢者福祉論	2	◎		2										
	障害者福祉論	2				2									
	児童・家庭福祉論	2				2									
	公的扶助論	2							2						
	医療福祉論	2								2					
	権利擁護を支える法制度	2									2				
	司法福祉論	2										2			
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1				2									
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	1					2								
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	1						2							
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	1							2						
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	1								2					
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1						2							
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1							2						
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1									2				
	ソーシャルワーク実習	5								4	4	4	4		
	精神保健福祉	精神保健Ⅰ	2		2										
		精神保健Ⅱ	2			2									
		精神医学Ⅰ	2				2								
		精神医学Ⅱ	2					2							
		精神保健福祉の原理Ⅰ	2					2							
精神保健福祉の原理Ⅱ		2						2							
ソーシャルワークの理論と方法（専門）A		2				2									
ソーシャルワークの理論と方法（専門）B		2					2								
精神障害リハビリテーション論		2							2						
精神保健福祉制度論		2					2								
ソーシャルワーク演習（専門）A		1						2							
ソーシャルワーク演習（専門）B		1							2						
ソーシャルワーク演習（専門）C		1								2					
ソーシャルワーク実習指導A		1						2							
ソーシャルワーク実習指導B		1							2						
ソーシャルワーク実習指導C		1								2					
ソーシャルワーク実習A		2						6							
ソーシャルワーク実習B		2							3	3					

共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
共通科目	人間	哲学A	2		2									※教養は8単位以上修得すること。	
		哲学B	2			2									
		倫理学B	2			2									
		心理学A	2		2										
		心理学B	2			2									
	社会	歴史学A	2		2										
		歴史学B	2			2									
		法学	2		2										
		日本国憲法	2			2									
		経済学	2		2										
	文化	社会学	2			2									
		文学A	2						2						
		文学B	2			2									
		文化史A	2		2										
	自然	文化史B	2			2									
		数学I	2		2										
		物理学I	2		2										
		化学I	2		2										
	語学	生物学I	2		2									※語学は2単位以上修得すること。	
		英語I	1		2										
		英語II	1			2									
		教養英語A	1		2										
	保健体育	教養英語B	1			2									
		健康体育A	1		2										
		健康体育B	1			2									
	データサイエンス	健康と生活	2		2										
		情報I	1	◎	2										
キャリア	情報II	1	◎		2										
	キャリアデザインI	2			2										
ゼミ	時事問題解説	2				2									
	基礎ゼミ	2	◎	2											
計		54		32	26	2	0	2	0	0	0	0			

教育人間科学部 こども学科

【小学校・幼稚園教諭コース】専門科目（1） カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

教育人間科学部
こども学科

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門基礎科目	教育原理	2	◎	2										※専門科目は必修科目30単位を含めて90単位以上修得すること。
	保育原理	2		2										
	教育心理学	2	◎		2									
	文章構成法	2	◎						2					
	教育史	2								2				
	発達心理学	2							2					
	教育社会学	2	◎		2									
	教育制度論	2							2					
	幼児理解の理論と方法	2			2									
	教育方法論（情報通信技術の活用を含む）	2	◎			2								
	教職概論	2	◎	2										
	教育課程論	2	◎		2									
	教育相談論	2	◎					2						
	生徒・進路指導論	2	◎					2						
	道徳教育の理論と実践	2	◎						2					
	特別支援教育論	2				2								
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2							2					
専門科目	児童文学	2		2										
	動物介在教育学	2			2									
	国語	2			2									
	社会科	2			2									
	算数	2			2									
	理科	2					2							
	生活科	2					2							
	家庭科	2					2							
	英語	2						2						
	初等教科教育法（国語）	2			2									
	初等教科教育法（社会科）	2			2									
	初等教科教育法（算数）	2			2									
	初等教科教育法（理科）	2					2							
	初等教科教育法（生活科）	2					2							
	初等教科教育法（家庭科）	2					2							
	初等教科教育法（音楽）	2				2								
	初等教科教育法（図画工作）	2				2								
	初等教科教育法（体育）	2				2								
	初等教科教育法（英語）	2						2						
	子どもと健康Ⅰ	1				1								
	子どもと健康Ⅱ	1				1								
	子どもと人間関係Ⅰ	1		1										
	子どもと人間関係Ⅱ	1		1										
	子どもと環境Ⅰ	1			1									
	子どもと環境Ⅱ	1			1									
	子どもと言葉Ⅰ	1				1								
	子どもと言葉Ⅱ	1				1								
小計		80		10	6	18	14	16	14	2	0			

【小学校・幼稚園教諭コース】専門科目（2） カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門科目	動物・ロボット介在教育演習	1	◎	2										専門科目は、必修科目30単位を含めて90単位以上修得すること。	
	こども文化教育演習	1	◎	2											
	子どもと音楽表現ⅠA	1			2										
	子どもと音楽表現ⅠB	1				2									
	子どもと音楽表現ⅡA	1					2								
	子どもと音楽表現ⅡB	1						2							
	子どもと造形表現Ⅰ	1	◎	2											
	子どもと造形表現Ⅱ	1				2									
	子どもと身体表現	1				2									
	保育内容総論	2			2										
	保育の指導法（環境）	2					2								
	保育の指導法（表現）	2								2					
	保育の指導法（人間関係）	2			2										
	保育の指導法（健康）	2							2						
	保育の指導法（言葉）	2							2						
	音楽Ⅰ	1	◎	2											
	音楽Ⅱ	1				2									
	図画工作Ⅰ	1			2										
	図画工作Ⅱ	1					2								
	体育Ⅰ	1			2										
	体育Ⅱ	1							2						
	こども教育体験演習	1			2										
	保育・教職実践演習（幼・小）	2											2		
	実習科目	教育実習事前事後指導	1						1	1					
		教育実習（幼・小）	4							8					
	その他	保育教職セミナーⅠ	2	◎	2										※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上
		保育教職セミナーⅡ	2			2									
		保育教職セミナーⅢ	2				2								
		保育教職セミナーⅣ	2					2							
教職アドバンスセミナーⅠ		2						2							
教職アドバンスセミナーⅡ		2								2					
論文講読Ⅰ		1									1				
論文講読Ⅱ		1										1			
卒業研究		8										4	4		
小計		57			10	14	10	8	11	13	5	7			
計	137			20	20	28	22	27	27	7	7				

【幼稚園教諭・保育士コース】専門科目（1） カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門科目	教育原理	2	◎	2										※専門科目は必修科目30単位を含めて90単位以上修得すること。	
	保育原理	2		2											
	保育の心理学	2				2									
	社会的養護Ⅰ	2			2										
	教育心理学	2	◎		2										
	社会福祉	2				2									
	子ども家庭福祉	2				2									
	乳児保育Ⅰ	2				2									
	文章構成法	2	◎						2						
	教育史	2								2					
	発達心理学	2							2						
	教育社会学	2	◎		2										
	教育制度論	2							2						
	保育者論	2			2										
	幼児理解の理論と方法	2	◎		2										
	教育方法論（情報通信技術の活用を含む）	2	◎				2								
	教職概論	2	◎	2											
	教育課程論	2	◎			2									
	保育の計画と評価	2					2								
	子ども家庭支援論	2					2								
	子ども家庭支援の心理学	2					2								
	教育相談論	2	◎						2						
	特別支援教育論	2					2								
	子どもの保健	2							2						
	こども専門科目	児童文学	2		2										
		動物介在教育学	2				2								
		子どもと健康Ⅰ	1					1							
		子どもと健康Ⅱ	1						1						
子どもと人間関係Ⅰ		1		1											
子どもと人間関係Ⅱ		1		1											
子どもと環境Ⅰ		1				1									
子どもと環境Ⅱ		1				1									
子どもと言葉Ⅰ		1					1								
子どもと言葉Ⅱ		1					1								
小計	60			10	10	14	14	4	6	2	0				

【幼稚園教諭・保育士コース】専門科目（2） カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目	動物・ロボット介在教育演習	1		2										専門科目は、必修科目30単位を含めて90単位以上修得すること。
	こども文化教育演習	1		2										
	子どもの理解と援助	1						2						
	子どもと音楽表現ⅠA	1			2									
	子どもと音楽表現ⅠB	1				2								
	子どもと音楽表現ⅡA	1					2							
	子どもと音楽表現ⅡB	1						2						
	子どもと造形表現Ⅰ	1		2										
	子どもと造形表現Ⅱ	1				2								
	子どもと身体表現	1				2								
	保育内容総論	2	◎		2									
	保育の指導法（環境）	2	◎				2							
	保育の指導法（表現）	2	◎							2				
	保育の指導法（人間関係）	2	◎		2									
	保育の指導法（健康）	2	◎						2					
	保育の指導法（言葉）	2	◎						2					
	子育て支援	1				2								
	子どもの食と栄養	2				4								
	乳児保育Ⅱ	1					2							
	社会的養護Ⅱ	1							2					
	障害児保育	2							2					
	子どもの健康と安全	1								2				
	保育実習指導Ⅰ（保育所）	1					1	1						
	保育実習指導Ⅰ（施設）	1					1	1						
	保育実習指導Ⅱ（保育所）	1						1	1					
	保育実習指導Ⅲ（施設）	1						1	1					
	こども教育体験演習	1				2								
	保育・教職実践演習（幼・小）	2											2	
	実習科目	保育実習Ⅰ（保育所）	2					4						
		保育実習Ⅰ（施設）	2					4						
		保育実習Ⅱ（保育所）	2						4					
		保育実習Ⅲ（施設）	2						4					
		教育実習事前事後指導	1							1	1			
		教育実習（幼・小）	4								8			
	その他	保育教職セミナーⅠ	2		2									
		保育教職セミナーⅡ	2			2								
保育教職セミナーⅢ		2				2								
保育教職セミナーⅣ		2					2							
教職アドバンスセミナーⅠ		2						2						
教職アドバンスセミナーⅡ		2								2				
論文講読Ⅰ		1									1			
論文講読Ⅱ		1										1		
卒業研究		8										4	4	
小計	72			8	10	14	18	27	17	5	7			
計	132			18	20	28	32	31	23	7	7			

※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上

共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
共通科目	人間	哲学A	2		2									※教養は、必修2単位を含めて8単位以上修得すること。	
		哲学B	2			2									
		心理学A（心理学概論）	2		2										
		心理学B	2			2									
		倫理学B	2			2									
	社会	歴史学A	2		2										
		日本国憲法	2	◎		2									
		文化史A	2		2										
	文化	文学A	2						2						
		化学I	2		2										
	自然	数学I	2		2										
		生物学I	2		2										
		生物学II	2		2										
		物理学I	2		2										
	語学	英語 I	1	◎	2										※語学は、必修1単位を含めて3単位以上修得すること。
		英語 II	1			2									
		教養英語A	1		2										
		教養英語B	1			2									
	保健体育	健康と生活	2		2										
		健康体育A	1		2										
		健康体育B	1			2									
	データサイエンス	情報 I	1	◎	2										
		情報 II	1	◎		2									
	キャリア	キャリアデザイン I	2			2									
		キャリアデザイン II	2				2								
		キャリアデザイン III	1						1						
ゼミ	基礎ゼミ	2	◎	2											
	保育教職セミナー	2	◎		2										
計		45		28	20	2	0	2	1	0	0				

専門科目（1） カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目 専門基礎科目	教育原理（幼）	2	◎	2										※専門科目は、必修24単位を含めて90単位以上修得すること。
	保育原理	2	◎	2										
	発達心理学（幼）	2	◎	2										
	保育の心理学	2			2									
	教育・学校心理学	2	◎		2									
	保育者論	2	◎		2									
	幼児理解の理論と方法	2	◎		2									
	教職概論（幼）	2	◎			2								
	教育方法論（幼）	2	◎				2							
	子ども家庭福祉	2			2									
	社会福祉	2							2					
	社会的養護Ⅰ	2				2								
	教育史（幼）	2							2					
	教育制度論（幼）	2	◎						2					
	教育経営論（幼）	2							2					
小計	30			6	8	6	2	0	8	0	0			

専門科目（2） カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
専門科目 幼児保育専門科目	子ども文化教育演習	1		2									※専門科目は、必修科目24単位を含めて90単位以上修得すること。
	幼児の音楽表現実践演習Ⅰ	1				2							
	幼児の音楽表現実践演習Ⅱ	1					2						
	総合表現演習	1							2				
	子どもと造形	2				2							
	幼児と健康	2				2							
	幼児と人間関係	2				2							
	幼児と環境	2				2							
	幼児と言葉	2				2							
	幼児と表現Ⅰ	2			2								
	幼児と表現Ⅱ	2			2								
	子どもの理解と援助	1		2									
	保育内容（健康）	2				2							
	保育内容（人間関係）	2				2							
	保育内容（環境）	2				2							
	保育内容（言葉）	2				2							
	保育内容（表現）	2				2							
	教育課程論（幼）	2		◎					2				
	子どもの食と栄養	2				2	2						
	保育内容総論Ⅰ	1				2							
	保育内容総論Ⅱ	2		◎			2						
	保育内容総論Ⅲ	2						2					
	保育の計画と評価	2						2					
	乳児保育Ⅰ	2				2							
	乳児保育Ⅱ	1					2						
	特別支援教育概論Ⅰ（障害児保育を含む）	1				2							
	特別支援教育概論Ⅱ（障害児保育を含む）	1					2						
	教育相談の理論と方法	2		◎				2					
	こどもと文化	2						2					
	動物介在教育学	2						2					
	学校動物飼育技術	2						2					
	子育て支援	1						2					
	こどもと食育	2						2					
	動物とこどもの生活	2							2				
	子どもの保健	2							2				
	子ども家庭支援論	2							2				
	子ども家庭支援の心理学	2					2						
	動物介在教育学演習	1							2				
	食育演習	2							4				
	社会的養護Ⅱ	1					2						
動物心理学	2								2				
多文化保育論	2								2				
子どもの健康と安全	1								2				
公認心理師の職責	2								2				
臨床心理学概論	2			2									
心理学研究法	2						2						
心理学統計法	2							2					
心理学実験	1							2					
知覚・認知心理学	2							2					

3 公認心理師

◇公認心理師とは

公認心理師は、保健医療、福祉、教育、産業・組織、司法・犯罪などの分野（以下、「主要5分野」とよぶ）で、心理学に関する専門的知識と技術をもって、心理に関する支援を行う心理学の唯一の国家資格です。具体的には、心理に関する支援を要する者やその関係者に対して、相談や助言、指導などの援助を行うほか、心の健康に関する知識の普及や教育を専門的に行うことで、国民が抱える心の問題や発達・健康上の問題に伴う複雑化・多様化した社会課題解決に応える人材として期待されています。公認心理師になるためには、本学科で所定の単位を全て修得することに加え、卒業後大学院で指定科目を修めて修了または定められた施設で一定期間の実務経験の後、国家試験に合格する必要があります。

◇履修方法

- ・希望者は、帝京科学大学履修規則を参照し、必ず必要な科目を履修してください。
- ・公認心理師課程履修者は、15名以内とします。
- ・1年次後期に公認心理師課程を履修希望する学生へのガイダンスを行い、希望者が15名を超える場合は2年次進級時に選抜を実施します。1年終了時までには修得した科目の評価点、GPA、面接等によって総合的に選考します。
- ・3年次から公認心理師課程を履修希望する学生がいた場合には、受け入れ可能人数に達していない場合に限り、選抜を実施の上、個別に履修指導を行うことにより、公認心理師課程科目の履修を認めます。

◇履修費用

公認心理師課程の選考に合格した者は、心理演習、心理実習および履修費として別途40,000円を徴収します。

〔別記13〕

履修規則第32条に基づく公認心理師課程の履修は、次表のとおりとします。

	公認心理師法施行規則 第1条の2に定める科目	左記に対応する本学開講科目	単位数	備考
1	公認心理師の職責	公認心理師の職責	2	
2	心理学概論	心理学 A (心理学概論)	2	
3	臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	
4	心理学研究法	心理学研究法	2	
5	心理学統計法	心理学統計法	2	
6	心理学実験	心理学実験	1	
7	知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	2	
8	学習・言語心理学	学習・言語心理学	2	
9	感情・人格心理学	感情・人格心理学	2	

10	神経・生理心理学	神経・生理心理学	2	
11	社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学	2	
12	発達心理学	発達心理学（幼）	2	
13	障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	
14	心理的アセスメント	心理的アセスメント	2	
15	心理学的支援法	心理学的支援法	2	
16	健康・医療心理学	健康・医療心理学	2	
17	福祉心理学	福祉心理学	2	
18	教育・学校心理学	教育・学校心理学	2	
19	司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2	
20	産業・組織心理学	産業・組織心理学	2	
21	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	
22	精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2	
23	関係行政論	関係行政論	2	
24	心理演習	心理演習	2	課程履修者のみ履修可能
25	心理実習	心理実習	2	課程履修者のみ履修可能

履修方法

- ・公認心理師国家試験受験には、所定の単位を全て修得することに加え、卒業後大学院で指定科目を修めて修了または定められた施設で一定期間の実務経験が必要となる。
- ・心理演習及び心理実習履修者は、15名以内とする。
- ・1年次後期に公認心理師課程履修希望者向けのガイダンスを行い、希望者が15名を超える場合は2年次進級時に選抜を実施する。
- ・3年次から公認心理師課程履修希望をする学生がいた場合には、受け入れ可能人数に達していない場合に限り、選抜を実施の上、個別に履修指導を行うことにより、公認心理師課程科目の履修を認める。

選抜方法

- ・1年終了時までに修得した科目の評価点、GPA、面接等によって総合的に選考する。

【小学校コース】専門科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考				
				1年次		2年次		3年次		4年次						
				1	2	3	4	5	6	7	8					
専門科目	教育学基礎科目	教職概論（小・中・高）	2			2									※専門科目は、必修科目42単位を含めて70単位以上修得すること。	
		教育原理（小・中・高）	2		2											
		教育史（小・中・高）	2							2						
		教育心理学（小・中・高）	2		2											
		教育社会学（小・中・高）	2				2									
		教育制度論（小・中・高）	2						2							
		発達心理学（小・中・高）	2					2								
		学習心理学	2						2							
	指導法関連科目	初等教科教育法（国語）	2				2									
		初等教科教育法（社会）	2				2									
		初等教科教育法（算数）	2				2									
		初等教科教育法（理科）	2						2							
		初等教科教育法（生活）	2					2								
		初等教科教育法（音楽）	2						2							
		初等教科教育法（図画工作）	2						2							
		初等教科教育法（家庭）	2							2						
		初等教科教育法（体育）	2								2					
		初等教科教育法（英語）	2					2								
	教科・基礎技能科目	国語（小）	2				2									○1どちらか ○2どちらか
		社会	2				2									
		算数（小）	2				2									
		理科	2						2							
		生活（小）	2		2											
		音楽基礎	1		2											
		造形 I	1			2										
		家庭	2				2									
		体育 I（小）	1			2										
		英語	2			2										
		国語演習	1	○1	2											
		社会演習	1	○2	2											
算数演習		1	○1	2												
理科演習		1	○2	2												
器楽		1			2											
声楽		1				2										
体育 II（小）		1					2									
板書法演習		1				2										
科学基礎	2			2												
教職応用科目	教育課程論（小・中・高）	2				2								○3どちらか ○4どちらか		
	教育方法論（情報通信技術の活用を含む）（小・中・高）	2				2										
	道徳教育の理論と実践（小・中）	2							2							
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（小・中・高）	2							2							
	特別支援教育（小・中・高）	2					2									
	生徒・進路指導論（小・中・高）	2							2							
	教育相談（小・中・高）	2							2							
	学習診断評価	2					2									
	教育統計学	2					2									
	教育実践学総論	2								2						
	教育現場におけるICT活用	1				2										
	日本語教育概論	2					2									
	日本語学概論 I	2						2								
	日本語学概論 II	2							2							
	日本語教育方法論	2								2						
	日本語教育実践論	2									2					
	日本語教育実践研究	2										2				
	教科応用科目	国語科教材研究	2	○3							2					
算数科教材研究		2	○3							2						
社会科教材研究		2	○4							2						
理科教材研究		2	○4							2						
教育科学研究入門		2	◎						2							
論文講読		2	◎							2						
											2					
特別支援教育課程科目	障害者教育総論	2				2								※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上		
	障害者教育課程論	2				2										
	知的障害者の心理	2						2								
	知的障害者の生理・病理	2							2							
	知的障害者教育	2							2							
	発達障害者教育総論	2							2							
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2								2						
	肢体不自由者教育	2									2					
	病弱者の心理・生理・病理	2									2					
	病弱者教育	2										2				
視覚障害者教育総論	2								2							
聴覚障害者教育総論	2									2						
重複障害者教育総論	2										2					
教育実習	教育実習事前事後指導（小）	1									2					
	教育実習（小）	4										8				
	教育実習事前事後指導（特支）	1									2					
	教育実習（特支）	2										2				
その他	教職実践演習（小・中・高）	2										2				
	卒業研究 I	4										8				
	卒業研究 II	4										8				
	計	152		8	20	24	24	28	38	20	16					

【中高理科コース】専門科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門科目	教育学基礎科目	教職概論(小・中・高)	2	◎			2							※専門科目は、必修科目33単位を含めて70単位以上修得すること。	
		教育原理(小・中・高)	2	◎	2										
		教育史(小・中・高)	2						2						
		教育心理学(小・中・高)	2	◎	2										
		発達心理学(小・中・高)	2	◎		2									
		教育社会学(小・中・高)	2	◎			2								
		教育制度論(小・中・高)	2	◎					2						
		学習心理学	2						2						
	指導法関		理科教育法Ⅰ	2	◎			2							
			理科教育法Ⅱ	2	◎				2						
			理科教育法Ⅲ	2						2					
			理科教育法Ⅳ	2							2				
	教科・基礎技能科目		科学基礎	2			2								
			基礎理科実験	1	◎			2							
			物理学総論Ⅰ	2	◎			2							
			物理学総論Ⅱ	2					2						
			物理学実験	1	◎						2				
			化学総論Ⅰ	2	◎			2							
			化学総論Ⅱ	2					2						
			化学実験	1	◎				2						
			生物学総論Ⅰ	2	◎			2							
			生物学総論Ⅱ	2					2						
			生物学実験	1	◎					2					
			地学総論Ⅰ	2	◎			2							
			地学総論Ⅱ	2					2						
			地学実験	1	◎						2				
		板書法演習	1							2					
	教職応用科目		教育課程論(小・中・高)	2	◎			2							
			教育方法論(情報通信技術の活用を含む)(小・中・高)	2	◎				2						
			道德教育の理論と実践(小・中)	2						2					
			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(小・中・高)	2								2			
			特別支援教育(小・中・高)	2				2							
			生徒・進路指導論(小・中・高)	2								2			
			教育相談(小・中・高)	2						2					
			学習診断評価	2				2							
			教育統計学	2					2						
			教育実践学総論	2								2			
			教育現場におけるICT活用	1				2							
			言語学入門	2						2					
			異文化間教育	2							2				
			論文講読	2						2					
	教科応用科目		物理学特論Ⅰ	2						2					
		物理学特論Ⅱ	2							2					
		化学特論Ⅰ	2						2						
		化学特論Ⅱ	2							2					
		生物学特論Ⅰ	2						2						
		生物学特論Ⅱ	2							2					
		地学特論Ⅰ	2						2						
	地学特論Ⅱ	2							2						
教育実習		教育実習事前事後指導(中・高)	1							2					
		教育実習Ⅰ(中・高)	2								4				
		教育実習Ⅱ(中・高)	2								4				
		教職実践演習(小・中・高)	2									2			
その他		卒業研究Ⅰ	4									8	※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上		
		卒業研究Ⅱ	4									8			
	計		106		4	4	22	18	28	18	22	10			

【中高保健体育コース】専門科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
教育学基礎科目	教職概論(小・中・高)	2	◎			2							※専門科目は、必修科目42単位を含めて70単位以上修得すること。
	教育原理(小・中・高)	2	◎	2									
	教育史(小・中・高)	2							2				
	教育心理学(小・中・高)	2	◎	2									
	発達心理学(小・中・高)	2	◎		2								
	教育社会学(小・中・高)	2	◎			2							
	教育制度論(小・中・高)	2	◎					2					
関連科目	学習心理学	2						2					
	保健体育科教育法Ⅰ	2	◎			2							
	保健体育科教育法Ⅱ	2	◎				2						
	保健体育科教育法Ⅲ	2						2					
教科・基礎技能科目	保健体育科教育法Ⅳ	2							2				
	バイオメカニクス	2	◎	2									
	体づくり	1	◎			2							
	屋外球技	1	◎			2							
	陸上競技	1	◎			2							
	水泳	1	◎			2							
	屋内球技	1	◎		2								
	武道	1	◎				2						
	体操	1	◎				2						
	ダンス	1	◎				2						
	野外活動1	1		2									
	野外活動2	1				2							
	学校保健	2	◎			2							
	球技	1						2					
	体育心理学	2	◎		2								
	運動学	2	◎					2					
	衛生学・公衆衛生学	2	◎					2					
生理学	2	◎		2									
板書法演習	1						2						
教職応用科目	教育課程論(小・中・高)	2	◎			2							
	教育方法論(情報通信技術の活用を含む)(小・中・高)	2	◎			2							
	道徳教育の理論と実践(小・中)	2						2					
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(小・中・高)	2							2				
	特別支援教育(小・中・高)	2				2							
	生徒・進路指導論(小・中・高)	2							2				
	教育相談(小・中・高)	2						2					
	学習診断評価	2				2							
	教育統計学	2					2						
	教育実践学総論	2								2			
	教育現場におけるICT活用	1				2							
	言語学入門	2						2					
	異文化間教育	2							2				
教科応用科目	武道教育論	2	◎		2								
	武道教育演習	1						2					
	運動指導論	2					2						
	運動指導演習1	1						2					
	運動指導演習2	1						2					
	運動指導演習3	1							2				
	トレーニング論	2				2							
	地域健康づくり指導者論	2						2					
	レクリエーション論	2						2					
	アダプテッドスポーツ論	2					2						
	スポーツ医学	2							2				
	体育科教育演習	1							2				
	トレーニング論演習	1							2				
	レクリエーション論演習	1							2				
	測定と評価	2							2				
健康・スポーツ科学研究法Ⅱ	2							2					
運動心理学	2					2							
健康・スポーツ科学研究法Ⅰ	2						2						
武道実習	1								2				
教育実習	教育実習事前事後指導(中・高)	1							2				
	教育実習Ⅰ(中・高)	2								4			
	教育実習Ⅱ(中・高)	2								4			
	教職実践演習(小・中・高)	2									2		
その他	卒業研究Ⅰ	4									8	※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上	
	卒業研究Ⅱ	4									8		
	計	118		8	10	22	24	30	24	24	10		

【中高英語コース】共通科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
共通科目	人間	倫理学B	2		2									※教養は、8単位以上修得すること。	
		心理学A	2		2										
		心理学B	2		2										
		哲学A	2		2										
		哲学B	2		2										
		宗教学A	2		2										
		宗教学B	2		2										
		科学史	2		2										
	社会	歴史学A	2		2										
		歴史学B	2		2										
		日本国憲法	2	◎	2										
		社会学	2		2										
	文化	文学A	2		2										
		文化史A	2		2										
		美学・芸術学	2		2										
	自然	数学Ⅰ	2		2										
		数学Ⅱ	2		2										
		物理学Ⅰ	2		2										
		物理学Ⅱ	2		2										
		化学Ⅰ	2		2										
		化学Ⅱ	2		2										
		生物学Ⅰ	2		2										
		生物学Ⅱ	2		2										
	語学	英語Ⅰ	1		2										※語学は、3単位以上修得すること。
		英語Ⅱ	1		2										
		教養英語A	1		2										
		教養英語B	1		2										
		教養英語C	1		2										
		中国語Ⅰ	1		2										
		中国語Ⅱ	1		2										
		韓国語Ⅰ	1		2										
	韓国語Ⅱ	1		2											
	保健体育	健康体育A	1		2										
		健康体育B	1		2										
		健康と生活	2		2										
	イデ エー ンタ スサ	情報Ⅰ	1	◎	2										
		情報Ⅱ	1	◎	2										
		統計学	2		2										
	キャ リア ア	キャリアデザインⅠ	2		2										
		キャリアデザインⅡ	2			2									
		キャリアデザインⅢ	1					1							
	ゼミ	教職セミナーⅠ	2	◎	2										
		教職セミナーⅡ	2	◎	2										
		教職セミナーⅢ	2	◎		2									
		教職セミナーⅣ	2	◎		2									
		基礎ゼミ	2	◎	2										
	計		78		38	46	4	2	0	1	0	0			

【中高英語コース】専門科目 カリキュラム表

※帝京科学大学履修規則別表より抜粋

◎は必修

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
教育学 基礎科目	教職概論(小・中・高)	2	◎			2								※専門科目は、必修科目32単位を含めて70単位以上修得すること。
	教育原理(小・中・高)	2	◎	2										
	教育史(小・中・高)	2							2					
	教育心理学(小・中・高)	2	◎	2										
	発達心理学(小・中・高)	2	◎		2									
	教育社会学(小・中・高)	2	◎			2								
	教育制度論(小・中・高)	2	◎					2						
学習心理学	2						2							
指導科 目 関 連 科 法	英語科教育法Ⅰ	2	◎			2								
	英語科教育法Ⅱ	2	◎				2							
	英語科教育法Ⅲ	2						2						
	英語科教育法Ⅳ	2							2					
教科・基 礎 技 能 科 目	Listening Comprehension I	1	◎	2										
	Listening Comprehension II	1			2									
	Speaking Workshop I	1	◎	2										
	Speaking Workshop II	1			2									
	Reading Comprehension I	1	◎	2										
	Reading Comprehension II	1			2									
	Writing Workshop I	1	◎	2										
	Writing Workshop II	1			2									
	Integrated English Communication I	1				2								
	Integrated English Communication II	1					2							
	Integrated English Communication III	1						2						
	Integrated English Communication IV	1							2					
	English Pronunciation Workshop	1	◎				2							
	English Grammar I	1	◎	2										
	English Grammar II	1			2									
	Intercultural Communication I	2				2								
	Intercultural Communication II	2					2							
	Classroom English	2	◎		2									
	英語教育の中の英語学総論	2				2								
	英語音声学	2				2								
英語教育とイギリス文学総論	2				2									
英語教育とアメリカ文学総論	2				2									
英語圏文化論	2	◎				2								
教職 応 用 科 目	教育課程論(小・中・高)	2	◎			2								
	教育方法論(情報通信技術の活用を含む)(小・中・高)	2	◎			2								
	道徳教育の理論と実践(小・中)	2							2					
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(小・中・高)	2								2				
	特別支援教育(小・中・高)	2				2								
	生徒・進路指導論(小・中・高)	2								2				
	教育相談(小・中・高)	2						2						
	学習診断評価	2				2								
	教育統計学	2					2							
	教育実践学総論	2									2			
	教育現場におけるICT活用	1				2								
	言語学入門	2						2						
	異文化間教育	2							2					
	教科 応 用 科 目	第二言語習得論	2	◎					2					
言語・文化・教育学研究法		2						2						
英語教育の中の英語学特論		2							2					
英語教育の中の英米文学・文化		2								2				
Academic Writing I		2				2								
Academic Writing II		2					2							
論文講読		2								2				
School Internship I		2								2				
School Internship II		2									2			
Overseas Study I		2		2										
Overseas Study II	2			2										
教育 実 習	教育実習事前事後指導(中・高)	1								2				
	教育実習Ⅰ(中・高)	2									4			
	教育実習Ⅱ(中・高)	2										4		
	教職実践演習(小・中・高)	2											2	
その 他	卒業研究Ⅰ	4										8		
	卒業研究Ⅱ	4											8	
	計	117		16	16	26	18	18	20	22	10		※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上	